

令和6年度 京丹後市の教育



弥栄中学校における遠隔授業の様子

京丹後市教育委員会

「令和6年度 京丹後市の教育」発刊のことば

令和6年度の教育行政は、平成27年3月に策定、令和元年11月に中間見直しした京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育、「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、精力的に取り組んでまいりました。

平成28年度より全市展開となりました小中一貫教育は8年目となり、さらに令和2年度から名称を、就学前から中学校卒業までの一貫性を目指す教育「保幼小中一貫教育」とし、保育所・幼保連携型認定こども園・小中学校が特色を活かしながら連携の取組みを実践し、地域とともにある学校を目指し、教育活動の推進に努めました。

特に、10年の節目を迎える「京丹後市教育振興計画」の見直し・策定に向け教育振興計画策定委員会を開催し、外部の有識者や各種団体、企業、保護者や学校をはじめとした関係者による協議を重ね、令和7年2月に、今後5年間で積極的に取り組むべき施策とその理念を体系的に明らかにした新しい「京丹後市教育振興計画」を策定しました。

子育て支援関係では、物価高騰による影響が長期化する中、低所得者の子育て世帯への給付として、18歳以下の児童1人当たり3万円の子育て支援給付金を支給しました。放課後児童クラブでは、利用児童が増加する中、新規の利用申請にも対応したオンライン申請システムを活用し、保護者の利便性の向上に取り組みました。また、子育て支援団体や子育て支援活動、市内の事業所等が行う授乳用設備等の整備に要する経費を助成し、子育て支援環境の充実に努めました。

保育所・こども園関係では、保護者の経済的負担軽減を図るため、第3子以降の保育料の原則完全無償化を実施したほか、認可外保育施設等を利用している方に対して、第3子以降の0～2歳児の保育料について助成金を給付するなど、子育て及び保育環境の更なる充実に努めました。

学校教育関係では、クラウドを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進める授業の推進やAIドリルも含めた持ち帰りによる家庭学習の推進に努めました。また、令和4年度より中学2年生に導入した「英語力向上アプリ」を中学全学年に導入して2年目となり、他市町との遠隔による授業研究会なども実施し、言語活動を中心とした授業づくりについて研究を進めました。さらに、国際的な視野を持ったグローバルリーダーを育成することを目的に、市内の中学3年生と高校生を対象としたKyotango Sea Laboプログラムの開発・実施も3年目を迎え、本事業の研究成果を、地域素材を活用した探究的な学習「丹後学」につなげるため、昨年度立ち上げた丹後学モデルカリキュラム作成部会では、令和7年度改訂版完成に向けて取り組みました。学習環境の整備では、トイレ洋式化事業を計画的に進め小中学校のトイレ洋式化を完了させるとともに網野学校給食センターについて、建築後37年が経過し、施設の老朽化が進行していたことなどから、学校給食衛生管理基準に適合した、より衛生的で安全性を重視した給食施設とするため建替え、整備を行いました。

社会教育分野では、地域公民館を中心として子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした学習機会や生きがいの場の提供に努めました。また、文化芸術振興分野では、令和4年度に策定した「京丹後市文化芸術振興計画」に基づき、優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供に努めたほか、コロナ禍により一時停滞した地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実に努めました。

社会体育関係では、令和5年度末に中間見直しを行った「第2次スポーツ推進計画」に基づき、各種施策を進めました。予定したニュースポーツ教室やノルディックウォーキング等全てのスポーツ事業を開催することができました。また2027年開催予定のワールドマスターズゲームズに向けたカヌーマラソンやSUP大会、丹後100km

ウルトラマラソン、丹後大学駅伝など開催し、スポーツを通じた本市の魅力発信やスポーツのまちづくりを進めました。

文化財保存活用関係では、京丹後市文化財保存活用地域計画を推進する中、令和5年度に発足した「市民遺産制度」の受付を開始、初認定を含む5件を認定することができました。また、令和9年3月に丹後震災100年の節目を迎えるにあたって、現在閉鎖中の丹後震災記念館の耐震化・利活用の検討を始め、耐震化及び利活用について一定の方向性を示す方針書の取りまとめを行いました。

なお、日本海側最大の前方後円墳である網野銚子山古墳の環境整備工事については、令和6年度末の整備完了には至らなかったものの、翌月4月には完了見込みとなり、教育的資源、観光的資源として、更なる活用等の方策について具体的な検討を進め、有効な活用の施策につなげることが必要と考えているところです。

本誌「京丹後市の教育」（教育要覧）の発行は今回で21年目となります。教育委員会活動を紹介する資料として、引き続き内容の一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和7年9月

京丹後市教育委員会教育長 松本 明彦

市の花「トウテイラン」

トウテイランは、8月から9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然 200 選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。



市の木「ブナ」

ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が 1 つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れておいしいお米を育て、最後には海へ流れて、貝や魚等の生き物を育てています。

温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。



市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様に永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、生き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作 作曲：藤原哲也）



京丹後市歌

詞 梅田 俊作

一、海青く 緑の半島 風そよぐ
めぐりくる 季節のなかに いだかれて
描く夢 色鮮やかに いつまでも
ふるさと色は 君の原色

二、薄曇の 雲間に光る 海原は
はるかなる 絹の道と 波つづき
季節風（うらに）に ぬかるむ大地 踏みしめて
歩いていこう 夢が道しるべ

三、さんさんと 天（そら）に子午線 時が往く
世代越え 伝え守る 手から手に
ものづくり ものがたりの 玉手箱
はるか未来へ 君に預け物

四、いにしへの 歴史をたどる 丹後路は
新しき 王国へと つづく道
手をつなごう みんなの思いが 羅針盤
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ

目 次

教育行財政

1	教育委員会委員、教育委員会組織体制図	1
2	教育委員会事務局事務分掌表	2
3	教育委員会の開催状況	6
4	教育費予算の概要	11
5	京丹後市教育振興計画進捗管理表	13
6	主要な決算の概要	16

学校教育

1	児童生徒数及び学級数の推移	31
2	学校施設一覧	34
3	京丹後市立公立学校施設整備事業、学校施設改修事業	36
4	学校通学区、スクールバス運行	37
5	奨学金	40
6	学校適正配置	43
7	保幼小中一貫教育	44
8	学校保健	47
9	学校給食	53
10	就学援助	56
11	教育指導	57
12	学校安全	63
13	不登校対策	66
14	研究等指定校	67
15	学校情報化推進	68
16	子ども主体の学びの推進	71

社会教育

1	社会教育事業の概要	79
2	社会教育施設概要	93
3	公民館	95
4	図書館	120
5	社会体育事業概要	128

6	社会体育施設一覧	138
---	----------	-----

文化財

1	文化財保存活用事業	140
2	文化財保護関係施設	151
3	指定文化財	154

子育て支援（こども部）

1	保育所・認定こども園 運営内容	155
2	各こども園の教育内容、各保育所の保育の理念・保育の目標	156
3	放課後児童クラブ登録児童数	166
4	子育て支援センター月別登録者・利用者数	167
5	家庭児童相談種別件数	168
6	ヤングケアラー支援事業実施報告	169

各種委員名簿

1	各種委員名簿	171
---	--------	-----

教 育 行 財 政

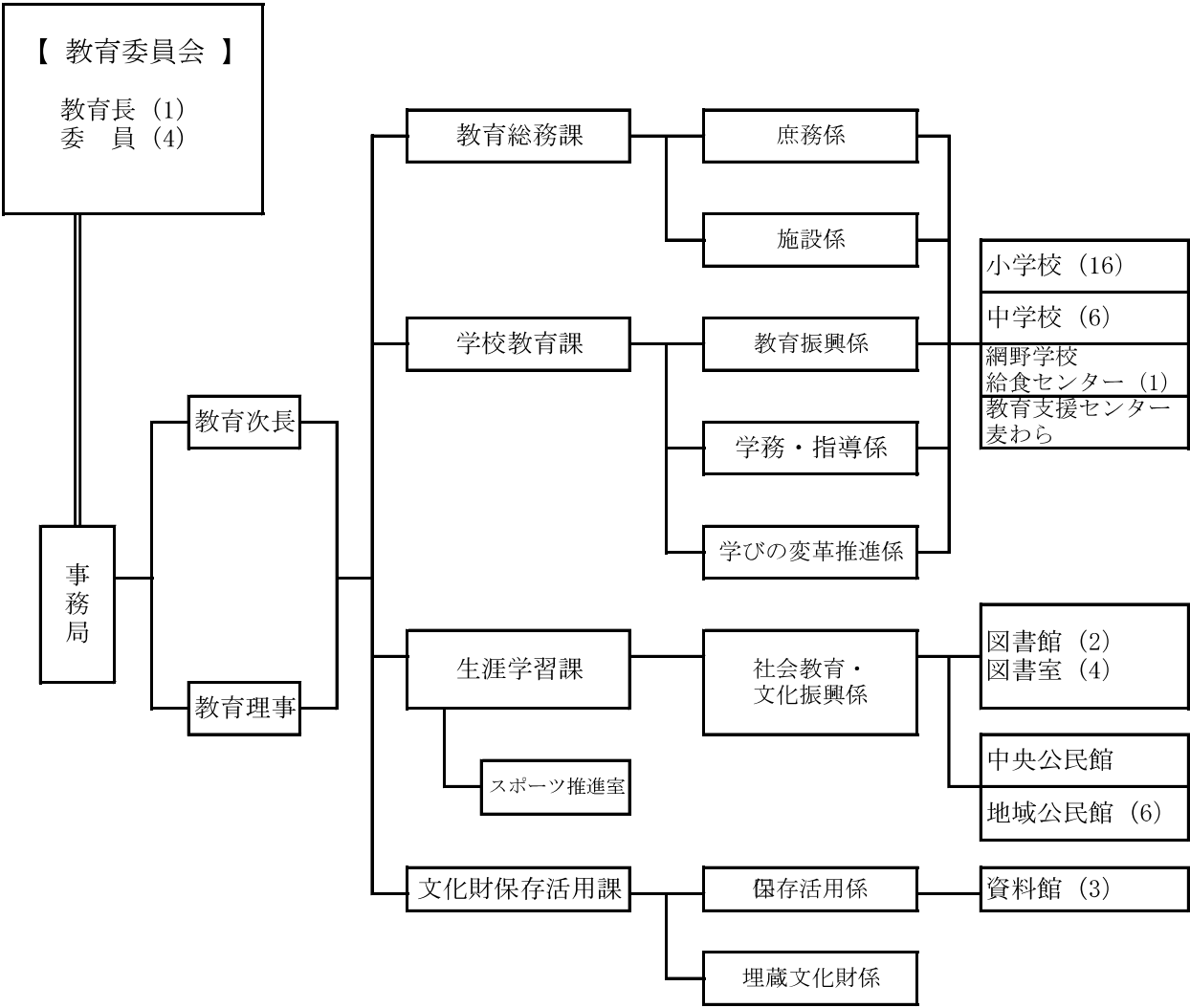
1 教育委員会委員

令和6年4月1日現在

- 教 育 長 松 本 明 彦 （令和3年4月1日～2期目）
- 教育長職務代理者 野 木 三 司 （平成24年1月30日～4期目）
- 委 員 関 美 幸 （令和4年7月8日～1期目）
- 委 員 田 村 浩 章 （平成28年7月8日～2期目）
- 委 員 安 達 京 子 （平成29年7月8日～2期目）

教育委員会組織体制図

令和6年4月1日現在



2 教育委員会事務局事務分掌表

教育総務課

ア 庶務係

- (ア) 教育振興基本計画に関すること。
- (イ) 教育委員会の会議に関すること。
- (ウ) 幼稚園及び学校の設置、廃止等に関すること。
- (エ) 教育委員会規則等の制定改廃に関すること。
- (オ) 職員の任免、懲戒、服務その他の身分取扱いに関すること。
- (カ) 職員の公務災害に関すること。
- (キ) 非常勤職員の任用に関すること。
- (ク) 京丹後市立学校勤務府費負担教職員安全衛生委員会に関すること。
- (ケ) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (コ) 公印の管理に関すること。
- (サ) 文書の収受及び発送に関すること。
- (シ) 教育費の予算編成及び決算に関すること。
- (ス) 奨学金に関すること。
- (セ) 公用車の運行管理に関すること。
- (ソ) 広報に関すること。
- (タ) 叙勲及び表彰に関すること。
- (チ) 寄附採納に関すること。
- (ツ) 外国語指導助手に関すること。
- (テ) 教育委員会の庶務に関すること。
- (ト) (ア)から(テ)までに掲げるもののほか、他の課に属さないこと。

イ 施設係

- (ア) 学校施設の基本計画及び実施計画に関すること。
- (イ) 学校施設の維持管理に関すること。
- (ウ) 学校施設の防災に関すること。
- (エ) 学校施設の国庫負担金(補助金)に関すること。
- (オ) 学校施設の施設台帳及び財産台帳に関すること。
- (カ) 学校跡施設の維持管理、利活用に関すること。
- (キ) (ア)から(カ)までに掲げるもののほか、教育施設に関すること。

学校教育課

ア 教育振興係

- (ア) 学校規模の適正化等の調査及び検討に関する事。
- (イ) 学校適正配置に関する事。
- (ウ) 学校 ICT 環境整備に関する事。
- (エ) 通学区域に関する事。
- (オ) 学校評議員に関する事。
- (カ) 指導主事の服務に関する事。
- (キ) 教育相談の総括に関する事。
- (ク) 教育支援センターに関する事。
- (ケ) 学校教育の情報発信に関する事。
- (コ) スクールバスの運行管理に関する事。
- (サ) (ア)から(コ)までに掲げるもののほか、教育振興に関する事。

イ 学務・指導係

- (ア) 就学に関する事。
- (イ) 学齢簿に関する事。
- (ウ) 学級編成に関する事。
- (エ) 児童生徒数の推計に関する事。
- (オ) 教科書の採択及び無償給与に関する事。
- (カ) 学校保健、学校安全に関する事。
- (キ) 保幼小中一貫教育に関する事。
- (ク) 学園運営協議会に関する事。
- (ケ) 学校給食、食育に関する事。
- (コ) 学校経営、教育活動及び教育課程の指導助言に関する事。
- (サ) 研究指定校に関する事。
- (シ) 教職員及び講師の任免並びに内申に関する事。
- (ス) 教職員の免許更新及び研修に関する事。
- (セ) 教職員の服務、公務災害及び給与事務に関する事。
- (ソ) 学校の管理運営予算及び教育振興予算の執行に関する事。
- (タ) 会計年度任用職員の任用に関する事。
- (チ) (ア)から(タ)までに掲げるもののほか、学務・指導及び学事に関する事。

ウ 学びの変革推進係

- (ア) 教育政策の総合的な企画及び調整に関する事。
- (イ) 探究的な学びの推進に関する事。
- (ウ) グローバル人材の育成に関する事。
- (エ) 教職員の働き方改革に関する事。

- (オ) 中学と高校との連携に関する事。
- (カ) 学校と地域・企業等との連携に関する事。
- (キ) (ア)から(カ)までに掲げるもののほか、学びの変革推進に関する事。

生涯学習課

ア スポーツ推進室

- (ア) スポーツ推進審議会に関する事。
- (イ) スポーツ推進計画に関する事。
- (ウ) スポーツ及びレクリエーションの振興に関する事。
- (エ) 体育施設の整備及び維持管理に関する事。
- (オ) 社会体育関係団体に関する事。
- (カ) スポーツ観光の推進に関する事。
- (キ) スポーツイベント等に関する事。
- (ク) (ア)から(キ)までに掲げるもののほか、スポーツの推進に関する事。

イ 社会教育・文化振興係

- (ア) 社会教育委員会議に関する事。
- (イ) 公民館に関する事。
- (ウ) 図書館に関する事。
- (エ) 図書館協議会に関する事。
- (オ) 子どもの読書活動推進計画に関する事。
- (カ) 社会教育施設の整備及び維持管理に関する事。
- (キ) 社会教育事業に関する事。
- (ク) 社会教育関係団体に関する事。
- (ケ) 文化芸術振興審議会に関する事。
- (コ) 文化芸術振興計画に関する事。
- (サ) 文化芸術の振興に関する事。
- (シ) 文化芸術関係団体に関する事。
- (ス) (ア)から(シ)に掲げるもののほか、社会教育・文化振興に関する事。

文化財保存活用課

ア 保存活用係

- (ア) 文化財保護審議会に関する事。
- (イ) 文化財保護団体に関する事。
- (ウ) 資料館、文化館等文化財関係施設に関する事。

- (エ) 文化財及び歴史文化(以下「文化財等」という。)の普及啓発に関する事。
- (オ) 文化財等の補助金に関する事。
- (カ) 収蔵資料の管理に関する事。
- (キ) 市史編さんに関する事。
- (ク) 文化財等の調査及び研究、収集並びに保存に関する事。
- (ケ) 文化財等の発信及び活用に関する事。
- (コ) 文化財等の情報提供及び指導助言に関する事。
- (サ) 文化財保存活用地域計画に関する事。
- (シ) (ア)から(サ)までに掲げるもののほか、文化財等の保存及び活用に関する事。

イ 埋蔵文化財係

- (ア) 埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (イ) 史跡の整備に関する事。
- (ウ) その他埋蔵文化財に関する事。

3 教育委員会の開催状況

(1)教育委員会審議案件等一覧(令和6年4月～令和7年3月)

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和6年4月1日	4月定例会	48	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	大宮庁舎
		49	プログラミングラボ体験&家計・お金の話の開催に係る後援について	
		報告3	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について	
		50	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について	
		51	京丹後市自治公民館活動交付金交付要綱の一部改正について	
令和6年5月1日	5月定例会	52	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について	大宮庁舎
		53	専決処分承認について（京丹後市教育委員会事務局文書取扱規程の一部改正について）	
		54	専決処分承認について（京丹後市立小中学校修学旅行引率補助金交付要綱の廃止について）	
		報告4	京丹後市学校評議員の委嘱について	
		55	京丹後市社会教育委員の委嘱について	
令和6年6月3日	6月定例会	56	京丹後市図書館協議会委員の任命について	大宮庁舎
		57	京丹後市教育支援委員会規則の全部改正について	
		58	令和6年度近畿高等学校総合体育大会カヌー競技 第23回近畿高等学校カヌー選手権大会に係る後援について	
		59	教えてマイスター！ものづくり体験@京都in丹後王国「食のみやこ」に係る後援について	
		60	専決処分承認について（京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について）	
		報告5	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について	
		報告6	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について	
		報告7	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について	
		61	絵本からの街づくりに係る後援について	
		62	みんな集まれー！真夏のウォーターサバゲーフェス！～外遊びは自由だ！～に係る後援について	
令和6年7月8日	7月定例会	63	こんぴら手づくり市に係る後援について	大宮庁舎
		64	2024年 第9回「こまねこまつり」に係る後援について	
		65	専決処分承認について（ふれあいサッカー教室に係る後援について）	
		報告8	京丹後市教育振興計画策定委員会委員の委嘱について	
		報告9	京丹後市立小中学校修学旅行引率補助金交付要綱の制定について	
		報告10	京丹後市学びの変革推進事業補助金交付要綱の制定について	
		報告11	京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会委員の解職及び委嘱について	
		報告12	京丹後市教育振興計画進捗管理について	

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和6年8月1日	8月定例会	66	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について	大宮庁舎
		67	サークル公開練習・体験会に係る共催について	
		報告13	保幼小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について	
		報告14	公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について	
		報告15	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について	
		報告16	京丹後市大学等受験料支援補助金交付要綱の制定について	
令和6年8月23日	8月臨時会	68	令和7年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について	大宮庁舎
		69	令和7年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について	
		70	京丹後市立学校医の委嘱について	
令和6年9月2日	9月定例会	71	京丹後市中学生海外派遣事業参加費補助金交付要綱の一部改正について	大宮庁舎
		72	2024年度 第53回 児童文化のつどいに係る後援について	
		報告17	絵本からの街づくりに係る後援について（変更）	
令和6年10月1日	10月定例会	73	欠番	大宮庁舎
		74	京都府北部バスケットボールカーニバルに係る後援について	
		75	専決処分承認について（第1回久美浜芸術祭 久美浜出身絵本作家・津田櫓冬「おばあさんのゆめ」を遊ぶ 久美浜のゆめ 文化でまちづくり、人づくりの後援承認の取消しについて）	
		76	令和6年度スポーツ体験教室に係る後援について	
		77	まりこふんと行く！日本海三大古墳めぐりツアーの開催に係る共催について	
令和6年11月1日	11月定例会	78	令和5年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について	峰山庁舎
		79	丹後震災記念館耐震化・利活用検討委員会設置要綱の制定について	
		80	ドワーフ「こまねこ」ワークショップ2024in京丹後市と「こんぴら手づくり市」に係る後援について	
		81	田中綾ピアノリサイタルに係る後援について	
		報告18	京丹後市市民遺産の初認定について	
令和6年12月2日	12月定例会	82	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について	大宮庁舎
		83	キッズマネースクールおみせやさんごっこ&はたらくってな～に？に係る後援について	
		84	専決処分承認について（京丹後市立網野学校給食センター条例の一部改正について）	
		85	京丹後市立図書館条例施行規則の一部改正について	
令和7年1月6日	1月定例会	1	令和6年度 卓球教室の開催に係る後援について	大宮庁舎
		2	文化財講座「丹後の祭り・行事～京都府祭り・行事調査から～」の開催に係る後援について	
		報告1	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（機械設備工事）請負契約の変更について	

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和7年2月3日	2月定例会	3	令和7年度全国学力・学習状況調査の実施について	大宮庁舎
		報告2	感謝料等請求調停事件に係る調停申立について	
令和7年2月14日	2月臨時会	4	令和7年度教育委員会関係予算について	峰山庁舎
		5	令和7年度「学校教育指導の重点」について	
		6	令和7年度「社会教育推進の重点」について	
令和7年2月26日	2月臨時会	7	令和7年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について	大宮庁舎
		8	京丹後市立学校教職員結核管理規程の一部改正について	
		9	京丹後市教育振興計画の策定について	
令和7年3月14日	3月定例会	10	令和7年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について	大宮庁舎
		報告3	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（建築主体工事）請負契約の変更について	
		報告4	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（機械設備工事）請負契約の変更について	
令和7年3月24日	3月臨時会	11	令和7年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について	大宮庁舎

教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

（教育委員会制度の根拠法律：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」）

教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の6つがあります。

(2)教育委員会委員の主な活動

ア 総合教育会議

開催日	会議名	会議内容等	会 場
令和6年11月1日	第1回総合教育会議	(1) 令和5年度「いじめ・不登校の状況」について (2) 次期京丹後市教育大綱の策定に向けて	峰山庁舎
令和7年1月24日	第2回総合教育会議	(1) 京丹後市教育振興計画の策定状況について (2) 京丹後市教育大綱の改訂について	峰山庁舎
令和7年2月14日	第3回総合教育会議	(1) 令和7年度予算案の検討状況について (2) 京丹後市教育大綱の改訂について	峰山庁舎

イ 管内視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場 所
令和6年5月1日	第1回管内視察研修	(1) 視察先：京丹後市こども部 (2) 内 容：こども部・こども未来課・子育て支援課概要説明、 懇談、現地視察を実施	峰山町
令和6年7月16日	第2回管内視察研修	(1) 視察先：京丹後市立弥栄中学校 (2) 内 容：オンラインによるプログラミング授業参観及び懇談 を実施	弥栄町



(第1回) 京丹後市こども部



(第2回) 弥栄中学校

ウ 管外視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場 所
令和6年11月8日	第1回管外視察研修	(1) 京都市立南大内小学校 ・ ICTを活用した授業展開について	京都市南区



エ 教育委員協議会

開催日	会議名	協議内容等	会 場
令和6年11月1日	第1回教育委員協議会	京丹後市網野温泉プールの利活用について ・ 内容について説明後、質疑・意見交換	大宮庁舎
令和7年1月6日	第1回教育委員協議会	京丹後市教育振興計画案について ・ 計画（案）について説明後、質疑・意見交換	大宮庁舎

オ その他の活動

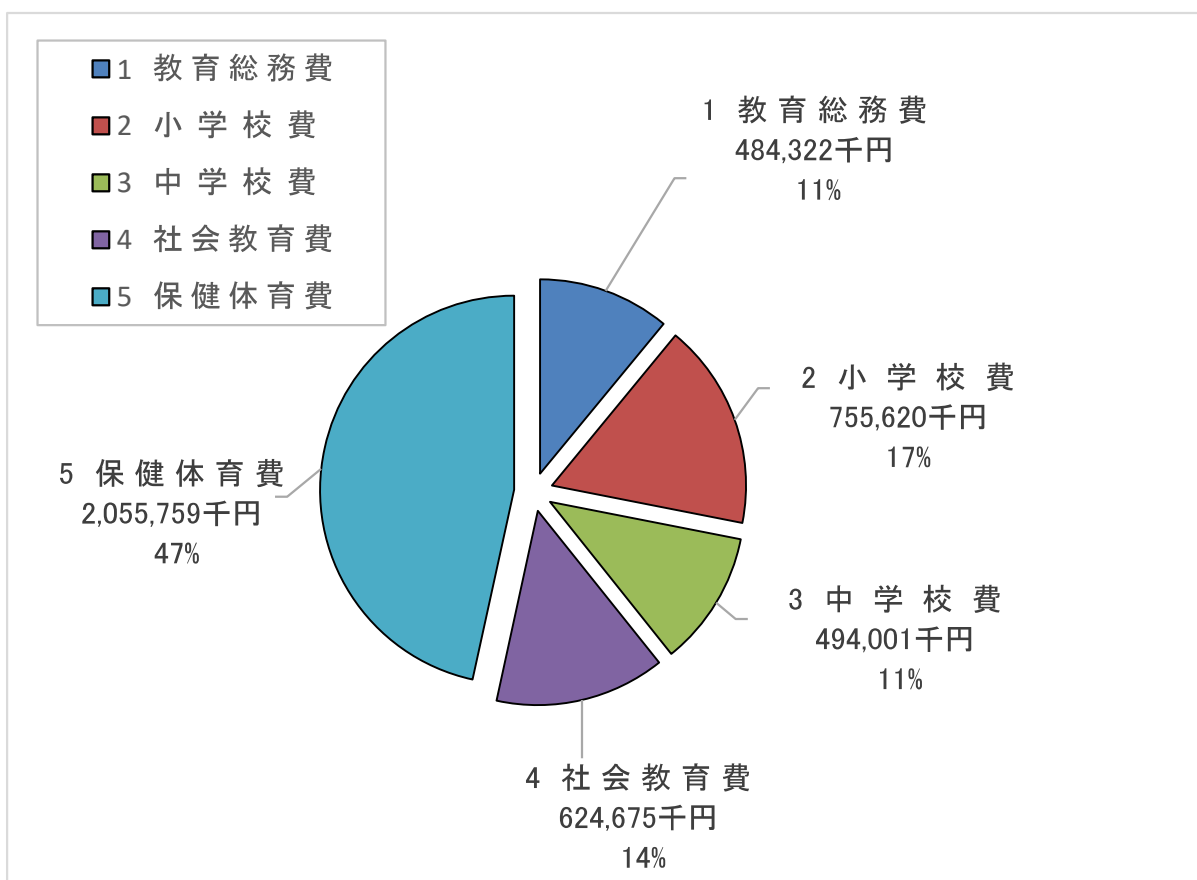
年月日	件 名	場 所
令和6年4月5日	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
令和6年4月8日	市内認定こども園入園・進級式	市内各認定こども園
令和6年4月9日	市内小学校入学式	市内各小学校
令和6年4月10日	市内中学校入学式	市内各中学校
令和6年4月17日	第1回校(園)長、保育所長会議	大宮庁舎
令和6年5月22日	令和6年度丹後地方教育委員会連合会定期総会	セントラーレ・ホテル京丹後
令和6年5月29日	令和6年度京都市町村教育委員会連合会定期総会・研修会 講演1 演題 『非常災害時における対応について ～能登半島地震被災地での支援活動から～』 講師 京都府教育庁指導部高校教育課首席総括指導主事 田中誠樹氏 同 学校教育課総括指導主事 平山孝次氏 講演2 演題 『当面の教育課題について』 講師 京都府教育庁 指導部長 相馬直子氏	京都府総合教育センター
令和6年7月8日	教育委員任命通知書交付式(田村浩章委員)	京丹後市役所
令和6年10月21日	令和6年度丹後地方教育委員会連合会教育委員等研修会 講演『不登校児童生徒への対応』 講師 京都府健康福祉部家庭・青少年支援課 チーム絆 早期支援特別班 支援コーディネーター 岡部隆志氏	宮津市中央公民館
令和6年11月8日	令和6年度京都市内市町(組合)教育委員会研修会 演題 『学校のデジタル化を踏まえたこれからの教育の在り方について』 講師 社会構想大学院大学コミュニケーションデザイン研究科 中川哲氏	京都府庁
令和6年11月13日	令和6年度近畿市町村教育委員会研修大会 (1) 講演 演題 『学校と地域でつくる学びの未来 ～コミュニティ・スクールの可能性～』 講師 三鷹教育・子育て研究所 所長 貝ノ瀬滋氏 東京都三鷹市教育委員会事務局 教育部 教育政策推進室 室長 越政樹氏 (2) 事例発表 テーマ『多様な学び支援について』 発表者 奈良県奈良市教育委員会 教育長 北谷雅人氏 テーマ『子育て応援・相談センター ほっとステーション ～こどもまんなかの視点に立った教育を目指して～』 発表者 奈良県天理市教育委員会 次長 山口忠幸氏 奈良県天理市教育委員会事務局 教育総合センター 主幹 中尾俊夫氏	大宮庁舎 (オンライン開催)
令和6年12月20日	令和6年度いじめ防止講演会 テーマ 『いじめ加害者の心理学ーいじめにつながる考えかたー』 講 師 甲南大学 文学部人間科学科 教授 大西彩子氏	アグリセンター大宮
令和7年1月19日	令和6年度京丹後市教育フォーラム 行政説明「Kyotango Sea Labo」の取組について 「令和6年度学校教育指導の重点」について 演題 『子どもたちのミライのために ～今 私たち大人がすべきこと・ できること そして 京丹後市への期待～』 講師 前さいたま市教育長 細田真由美氏	アグリセンター大宮
令和7年3月14日	京丹後市立中学校卒業式	市内各中学校
令和7年3月16日	令和7年京丹後市はたちを祝う式典	京都府丹後文化会館
令和7年3月21日	京丹後市立小学校卒業式	市内各小学校
令和7年3月24日	京丹後市立認定こども園卒園式	市立各認定こども園
令和7年3月25日	京丹後市立保育所修了式	市立各保育所

4 教育費予算の概要

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比 較
一 般 会 計 総 額	43,570,000	37,360,000	6,210,000
教 育 費	4,414,377	3,563,954	850,423
(教育費の占める割合)	10.1%	9.5%	—
1 教 育 総 務 費	484,322	468,140	16,182
2 小 学 校 費	755,620	794,237	△ 38,617
3 中 学 校 費	494,001	631,077	△ 137,076
4 社 会 教 育 費	624,675	541,414	83,261
5 保 健 体 育 費	2,055,759	1,129,086	926,673

民 生 費			
2 児 童 福 祉 費	4,057,693	3,646,708	410,985
(1) 児童福祉総務費	186,892	130,676	56,216
(4) 保 育 事 業 費	2,585,527	2,378,521	207,006

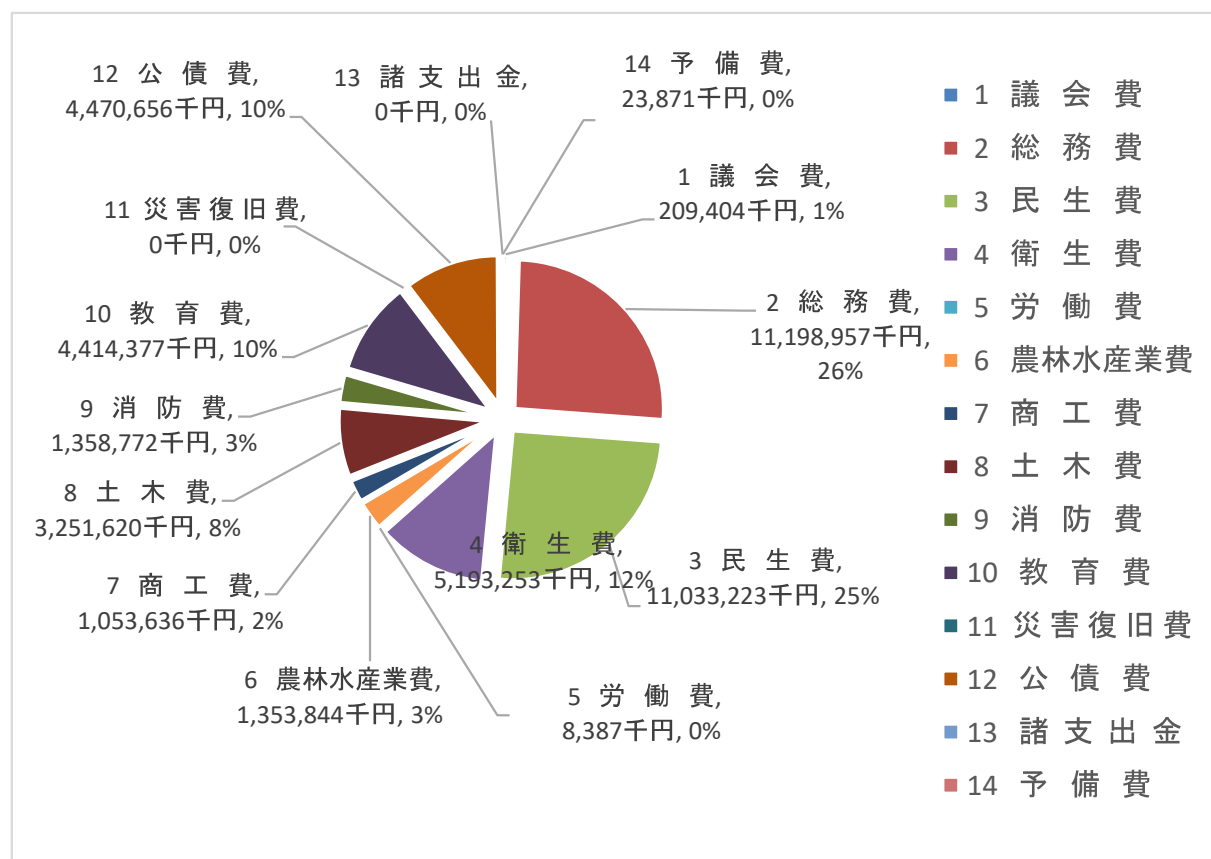


※教育費のみをグラフにしています。

一般会計歳出予算の目的別内訳

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比 較
1 議 会 費	209,404	212,110	△ 2,706
2 総 務 費	11,198,957	5,641,774	5,557,183
3 民 生 費	11,033,223	10,466,310	566,913
4 衛 生 費	5,193,253	5,187,621	5,632
5 労 働 費	8,387	32,099	△ 23,712
6 農林水産業費	1,353,844	1,340,393	13,451
7 商 工 費	1,053,636	1,302,931	△ 249,295
8 土 木 費	3,251,620	3,564,278	△ 312,658
9 消 防 費	1,358,772	1,500,679	△ 141,907
10 教 育 費	4,414,377	3,563,954	850,423
11 災害復旧費	0	0	0
12 公 債 費	4,470,656	4,523,891	△ 53,235
13 諸 支 出 金	0	0	0
14 予 備 費	23,871	23,960	△ 89
合 計	43,570,000	37,360,000	6,210,000



5 令和7年度 京丹後市教育振興計画(平成27年度～令和6年度) 進捗管理表

【重点目標１】 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します

施策の方向性	令和6年度 重点事業	担当課	備考	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (R6) 当初	実績値 (R6年度)	目標値 (R6) 22年度末	令和6年度成果と今後の課題
1. 就学前教育の環境整備	1 乳児保育担当職員の確保		こども未来課 継続							
2. 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化	2 第二次保育所再編等推進計画の推進		こども未来課 R3終了	病後児保育の実施事業所数	か所	0（平成25年度）	1	1	1	コロナ禍以降も利用者は減少傾向が続いており、周知方法を工夫するとともに、今後には病児保育についてもニーズ把握しながら検討を進める必要がある。
	3 第2期子ども・子育て支援事業計画の推進及び、第3期計画の策定		こども未来課 継続							
	4 保幼小中一貫教育推進事業	学校教育課	継続	子育て支援センター数	か所	7（平成25年度）	8	8	8	市内8か所で開設しており、多くの方にご利用してもらうことができた。また、16年3月から岡野地区支援センターの土曜開設を開始し、休日の利用希望のニーズに応えることができた。出生数は減少しているものの、地域支援センターのニーズは高まっており、今後、より利用しやすい支援センターの在り方を検討していく必要がある。
				一時預かり実施事業所数	か所	6（平成25年度）	9	10	10	平成28年度に新たに大宮北保育所及びこうりゅう虹こども園での一時預かりを開始した。事業所数が10か所となり、利用しやすくなったことでサードスペースの向上を図ることができた。
				保育所・こども園職員の全体研修数	回	3（平成25年度）	5	4	4	計画どおり全体研修を実施することができた。今後も、更なる職員の資質向上を図っていくため、引き続き研修を実施していく必要がある。
				保育所・こども園待機児数ゼロの継続	人	—	0	0	0	乳児保育の需要が高まる中、教育・保育従事者の確保が課題となっているが、待機児童ゼロを継続することができた。市内の人口構造の変化に伴い、地域によって利用希望が集中するため、職員の確保と合わせ適切に利用調整等を行う必要がある。
				民営化保育所設置数	か所	—	6	4	4	多様な保育の提供を行うことができることから、民営化の推進を行っているが、民間事業者についても職員確保など課題となっており、計画的に移行できていない。今後も協賛等を見極めながら民営化の推進を行いたい。

【重点目標2】 確かな学力・生き抜く力を育みます

[illegible]

【重点目標3】 子どもを健やかに育む教育環境を充実します

[illegible]

【重点目標4】豊かな人間性・社会性を育みます

施策の方向性	令和6年度 重点事業	担当課	備考	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (R6)	実績値 (R6年度)	目標値 (R6)	令和6年度成果と今後の課題
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	1 保幼小中一貫教育推進事業【再掲】	学校教育課	継続	不登校児童生徒の発生率	小学校 5人/0.16% 中学校 47人/2.49% (平成25年度)	減少させる	小学校 0.95% 中学校 5.36%	減少させる		不登校児童生徒の発生率は、前年度比で小学校で7.24ポイント、中学校3.02ポイント減少した。小中の連携や各関係機関との連携、各校での魅力ある学級・学校づくりにつながっていることが成果として挙げられる。数年間であること、増加傾向ではあるため、より一層の丁寧な支援に努める。
	2 就学支援・教育相談事業【再掲】	学校教育課	継続							
	3 いじめ・不登校防止対策等総合推進事業	学校教育課	継続	いじめの認知件数/認知率	小学校386件/12.7% 中学校189件/10.2% (平成25年度)	減少させる	小学校 316件 13.8% 中学校 30件 2.6%	減少させる		いじめの認知率は、小・中学校でほぼ同率。引き続きいじめを積極的に認知し、各校で設置しているいじめ防止等組織において密接な連携と関係機関との協力を進め、いじめの早期発見・早期対応を図る。今後も各校のいじめ防止基本方針に基づいた実施把握や情報共有、組織的な対応を徹底し、早期解消のための取組を推進する。
	4 教育支援センター管理運営事業【再掲】	学校教育課	継続							
	5 小学校スクールリーダー等設置事業・中学校スクールリーダー等設置事業【再掲】	学校教育課	継続	認知されたいじめの年度内解消率	小学校357件/92.5% 中学校181件/95.8% (平成25年度)	100	小学校97.3% 中学校96.1% (いじめの早期発見等の取組が効果的であったこと、令和5年度認知率の減少が顕著な成果と認められる)	小中ともに100%		令和5年度の成果と比較すると、解消率が小中学校ともに上が結果となった。令和6年度の第2回いじめ調査の認知率に基づく追跡調査の結果、各校でのいじめ防止等組織の機能強化が、いじめの早期発見・早期対応に効果的であったことが確認された。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組の充実を図る必要がある。
	6 学習支援体制整備事業【再掲】	学校教育課	R6終了							
	7 家庭教育支援チームの活動強化	生涯学習課	継続	いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合	小学生97.0% 中学生90.9%	増加させる	小学校96.5% 中学校96.3%	増加させる		「いじめはいけないことだ」という意識がある児童生徒の割合は、年間1回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、令和5年度までは、過去5年間で小中学校ともに95%以上を占めていたが、令和5年度には中学校において95%を下回った。しかし、令和6年度を見ると、小中学校ともに95%以上を占めている。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組の充実を図る必要がある。
				学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合	小学生93.8% 中学生90.8%	増加させる	小学校91.4% 中学校94.8% (全学年・学年別・学級別の児童生徒の割合を調査し、その結果を踏まえ、必要に応じて指導等を進める中で、言われたことを守るだけでなく、自ら考え、理解し、行動に移す能力を育成していく必要がある)	増加させる		小中学校ともに学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、高い水準で推移している。引き続き各校のきまりや規則の徹底を図り、児童生徒の自主的な行動の指導等を進める中で、言われたことを守るだけでなく、自ら考え、理解し、行動に移す能力を育成していく必要がある。
				人の気持ちが変わる人間になりたいと思う児童生徒の割合	小学生94.4% 中学生93.2%	増加させる	小学校97.9% 中学校96.2% (全学年・学年別・学級別の児童生徒の割合を調査し、その結果を踏まえ、必要に応じて指導等を進める中で、言われたことを守るだけでなく、自ら考え、理解し、行動に移す能力を育成していく必要がある)	増加させる		小中学生ともに高い水準で推移しており、小学校においては、人への気持ちを大切にしたいという意識が、児童生徒の心の中に定着している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組の充実を図る必要がある。
				人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小学生94.0% 中学生93.2%	増加させる	小学校97.9% 中学校96.1%	増加させる		人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通して丁寧な指導により、児童生徒の心の中に定着している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組の充実を図る必要がある。
				自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小学生94.0% 中学生93.2%	増加させる	小学生79.4% 中学生79.2%	増加させる		令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。
				住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学生94.0% 中学生93.2%	維持する	小学校86.7% 中学校75.8% (全学年・学年別・学級別の児童生徒の割合を調査し、その結果を踏まえ、必要に応じて指導等を進める中で、言われたことを守るだけでなく、自ら考え、理解し、行動に移す能力を育成していく必要がある)	維持する		小学校中学校ともに増加した。全国の平均と比べると、京丹後市の結果が大きく上回っている。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の行事が元通り実施されたことが影響していると考えられる。
				放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	0	0	0	令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。

【重点目標5】生涯にわたる豊かな学びを支援します

施策の方向性	令和6年度 重点事業	担当課	備考	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (R6)	実績値 (R6年度)	目標値 (R6)	令和6年度成果と今後の課題
1. 生涯学習の体制づくり	1 公民館職員研修会の実施	生涯学習課	R6終了	青少年の体験活動事業数	事業	42	60	26	55	地域公民館等の事業のほか、京都府や府内大学、市内関係団体の関係機関と連携し事業を実施している。今後、社会教育団体や学校、地域と連携・協力をしながら学習機会を提供する。
	2 子ども地域体験事業の実施	生涯学習課	継続							
	3 各種趣味・教養講座の実施	生涯学習課	R6終了	趣味・教養講座数	事業	29	35	52	45	高齢者大学として生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりなどを目的に実施しているが、趣向性が強い傾向にあるため、講師陣等について個人負担を軽減する必要がある。今後は、サークル化への移行など自主的な活動を促し、自立を目指す。
	4 地域課題学習講座の実施	生涯学習課	R6終了							
	5 京丹後市民大学の実施	生涯学習課	継続	地域課題学習講座数	事業	2	10	12	10	自分が生活する地域の現状把握や地域課題、行政課題を中心とした講座を実施することで、京丹後市の歴史や地域での課題、行政の課題を学び、市民がいっしょになって課題解決に取り組む、持続可能な地域社会を目指す。
	6 図書館資料の整備	生涯学習課	継続							
	7 各種読書活動事業の実施	生涯学習課	継続	高齢者大学の参加者数	人	789	1,000	774	1,000	高齢者を対象とした講座であることから、参加者の定着化・固定化の課題などもあることから、令和6年度から、高齢者大学の事業をリニューアルし、(仮称)「京丹後市民大学」として、対象年齢の拡大、オンラインによる開催などの取組を検討していく。
	8 人権教育研修会の実施	生涯学習課	継続							
	9 障害者交流研修会の実施	生涯学習課	継続	人権学習会の参加者数	人	820 (平成25年度)	1,200	590	1,200	取り組む内容が難しいというイメージがある人権学習であるが、1,000の講演会やインターネットやSNS等における講演中継など社会情勢の変化による新たな課題も多くなってきている。そのため、社会における人権に関する問題を昨今の状況に基づき、学習者のニーズを適切に把握し、市民全体が住みよいまちづくりにつながるよう取り組む必要がある。
	10 いじめ・不登校防止対策等総合推進事業【再掲】	学校教育課	継続							
	11 丹後地域公民館耐震等改修事業	生涯学習課	R2終了	図書館の年間貸出冊数(市民1人当たり)	冊	5.2 (平成25年度)	7.0	5.20	6.5	コロナ前の水準を維持することができたが、令和5年度と比べると減少している。事業も例年どおりの事業を実施することができた。今後は、都市部計画に沿って、新たな図書館サービスの検討を進め、人口減少・高齢化に対応する時代のニーズに応えていくことができるようさらに取り組んでいく必要がある。
	12 丹後図書館移転整備事業	生涯学習課	R2終了							
2. 生涯学習の体制づくり				地域公民館施設の利用回数	回	4,308 (令和元年度) ※改定時追加指標	7,000	3,421	6,400	令和6年度は、令和5年度に比べ減少となったが、社会教育活動や生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、適切な維持管理運営を行い、地域の身近な課題等に即した学習機会の提供に努めていく必要がある。
				放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	0	0	0	令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。
				放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	0	0	0	令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。
				放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	0	0	0	令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。
				放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	0	0	0	令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。
				放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	0	0	0	令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。
				放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	0	0	0	令和5年度の成果と比較すると、小学校は維持、中学校は増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを認める、褒めることが児童生徒に伝わるように努めるなど、意図的な働きかけにより、自分にはよいところがあるという感覚とともに自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。そのために、授業づくりと学校経営、その他全ての教育活動の中で、一人ひとりに目を向けた教育活動を推進していく必要がある。

【重点目標6】 歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます

施策の方向性	令和6年度 重点事業	担当課	備考	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (R.6)	実績値 (R.6年度)	目標値 (R.6)	令和6年度成果と今後の課題
1. 豊かな歴史文化等を学習する 機会の充実	1 『総合的な学習の時間』を活用した丹後学の実践事業	学校教育課	継続	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468人（5事業 17講座） （平成25年度）	1,700	699	1,500	建造物修理現場公開や古墳発掘調査現地説明会など、関係機関と協ししながら現地見学の取り組みを増加した。（8件、340人）。また、初めの試みとして文化財めぐりマップを利用したスランパラリーを行った（参加者88人）。そのほか外部からの出前講座等の対応を行った（14件、271人）。今後も、講座内容の見直しを適行しながら参加者の増加に努める必要がある。
	2 京丹後史博士育成講座（10講座）	文化財保存活用課	継続							
	3 文化財セミナー開催（2講座）、各種文化財講演会	文化財保存活用課	継続							
	4 文化財の管理、建造物等の修繕、郷土芸術の道具衣装の更新	文化財保存活用課	継続							
	5 文化財情報発信、ホームページ充実	文化財保存活用課	継続							
2. 地域の文化財の総合的な保存 と活用	6 網野銀子古墳の整備	文化財保存活用課	継続	資料館、文化館入館者数	人	13,808人（3施設） （平成25年度）	15,000	12,016	16,750	丹後古代の歴史資料館・郷土資料館・琴引浜縄文砂文館は、全体として前年度実績と比べ入館者は増えた。特に、丹後古代の歴史資料館においては、市制20周年記念であるとともに、開館20年の節目として特別展示を実施した。琴引浜縄文砂文館においては、常設展示の一部リニューアルを行った。今後も、さまざまな展示・イベント等の実施で、集客増に努める。
	7 民俗資料整理と資料館での展示充実、公開	文化財保存活用課	継続							
	8 アーティスト・イン・レジデンス事業の実施	生涯学習課	R3終了							
	9 京丹後市文化財保存活用地域計画の策定	文化財保存活用課	R4終了							
	10 歴史文化めぐりマップの運用	文化財保存活用課	継続		遺跡	史跡整備6遺跡 （平成25年度） ※京丹後市文化財マップアップ	8		7	
3. 資料館施設等の整備充実				京丹後史博士の認定者数	人	—	120	67	107	京丹後市文化財保存活用地域計画において、博士講座を改編し、資料調査講座、ガイド育成講座を実施することを実行計画としてあげたなど、より具体的な人材育成に資するような方針に変更した。令和6年度はガイド育成にも資する内容の講座と、「丹後の歴史文化を学ぶ」と題し合計8回開催し、延べ10人の参加があった。
4. 文化芸術活動の推進				文化協会加盟サークル数	団体	170	200	106	160	各加盟団体が実施するイベントや文化協会が実施する総合文化祭、サークル体験会を通じて、市民へ文化芸術振興や実際に体験する機会を提供することができた。 前年度と比べサークル数が減少しており、新型コロナ前から比べると約2/3まで減少してきている。このような状況の中、文化協会では、サークル公開練習・体験会、文化協会加盟団体の加入促進PRテレビの放映、サークル体験講座を実施するなどサークル数の増加、会員の増進を目指した取り組みも実施しているが、根本的な解決には至っていない。 今後は、さらに市民が文化力を高め、文化協会からの取組につなげ、加盟サークル数の維持及び増加にもつながるよう、協会を支援していく。
5. 京丹後市文化財保存活用地域計画の策定				文化芸術事業の開催回数	回	—	100	46	55	本物の舞や芸術体験事業を小中学校で取り組んだほか、新たにアートフェスティバル2024として、前年度に引き続くワークショップなどを行う文化芸術イベントの開催、文化協会が行う各町域での文化祭や総合作品展、サークル体験会、丹後文化事業団が行う事業への支援、各地区公民館による文化祭等を行い、市民の文化芸術を、実際に目にし、そして実際に触れる機会の提供を増やすことができた。 令和7年度についても、アートフェスティバル2025として、秋以降に取組を実施する。
6. 京丹後市文化財保存活用地域計画の策定				京都府丹後文化会館利用者数	人	—	42,000	28,562	40,000	令和6年度は、京丹後市市制20周年を記念してNHKのド自慢、丹後館、ピアノリサイタルを実施したことにより令和5年度より利用者は増加した。 高齢化や人口減少による利用者の減少も叫ばれる中、遠近母体からの新たな事業への取組による利用者の維持・増加を目指すとともに、近隣市町と連携し丹後地域全体での利用拡大につながる取組を検討する必要がある。

【重点目標7】 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します

施策の方向性	令和6年度 重点事業	担当課	備考	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (R.6)	実績値 (R.6年度)	目標値 (R.6)	令和6年度成果と今後の課題
1. 健康な体づくり	1 保幼小中一貫教育推進事業【再掲】	学校教育課	継続	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	小学生97.8% 中学生91.1% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）	小学生100% 中学生95%以上	小学生93.6% 中学生92.7%	増加させる	朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小中学校で減少、中学生では維持という結果であった。継続して高い水準で推移している。各校園における取組に定着させているが、朝食を食べていない児童生徒がいることに注視し、今後も保護者との連携を要する点にすることで、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。
	2 ニュースポーツの普及	生涯学習課	継続							
2. 食育の推進	3 京丹後市総合スポーツ大会の実施	生涯学習課	継続							
	4 京都府民総合体育大会への選手派遣	生涯学習課	継続							
3. 地域スポーツ活動の推進	5 オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業の推進	生涯学習課	R4終了							
	6 ワールドマスターズゲームズ2021関西に係る事業の推進	生涯学習課	R4終了	平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合	%	小学生88.4% 中学生77.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）	小学生100% 中学生95%以上	小学生100% 中学生95%以上	—	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたた
4. 競技力の向上	7 スポーツ観戦イベントの実施	生涯学習課	継続							空手選手が学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし。
	8 スポーツ障害予防事業の実施	生涯学習課	R4終了		%	小学生91.6% 中学生45.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）	小学生100% 中学生50%以上	小学生100% 中学生50%以上	—	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし。
5. 社会体育施設等の整備充実	9 峰山途中平丘公園陸上競技場の第3種公認陸上競技場整備	生涯学習課	R2終了	平日、午後1時より前に寝る児童生徒の割合	%	小学生91.6% 中学生45.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）	小学生100% 中学生50%以上	小学生100% 中学生50%以上	—	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし。
	10 障害者スポーツの推進	生涯学習課	継続							
6. スポーツ観光のまちづくり	11 社会体育施設の見直し	生涯学習課	継続							
	12 社会体育団体のあり方検討	生涯学習課	R4終了	小学生（5年生）の体力テスト全国平均以上	8 種目中 7 種目	全種目	8 種目中 6 種目	8 種目中 6 種目	増加させる	令和6年度は、男女ともに、上体起こし、反復横ばい、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げが全国平均を上回った。男子は、立ち幅踏み上げ、腕力、長距離体前屈の筋力、筋持久力、柔軟性のある項目が全国平均を下回った。 引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通した体力づくりの取組等により、意識的に課題のある筋力・柔軟性などの運動能力について克服していく必要がある。
	13 ワールドマスターズゲームズ2027関西に係る事業の推進	生涯学習課	継続							
	14 京丹後市スポーツ協会との連携・協力	生涯学習課	継続							
7. 京丹後市スポーツ協会の設立				中学生（2年生）の体力テスト全国平均以上	8 種目中 4 種目	全種目	8 種目中 2 種目	8 種目中 2 種目	増加させる	令和6年度は、反復横ばい、20mシャトルランが男女ともに全国平均を上回った。女子については、持久走、50m走も上回っている。腕力、上体起こし、長距離体前屈、ハンドボール投げなどの筋力、柔軟性、投力を図る項目が全国平均を下回った。 引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通した体力づくりの取組等により、意識的に課題のある筋力・柔軟性などの運動能力について克服していく必要がある。
8. 京丹後市スポーツ協会の設立				成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6% 市民アンケート調査結果（平成24年度）	65.0% 国の目標	32.9%	65%	令和6年度については、市民総合健康調査での数値ではあるが、令和5年度と比べ減少となった。健康増進と体力の向上を図るため、スポーツ推進委員会が中心となって開催する地域でのミニスポーツ祭やスポーツフェスティバル開催や教室等を開催しているが、コロナ前の数値には戻っていない。 広報を強化し、参加者を増やす工夫が必要である。
9. 京丹後市スポーツ協会の設立				京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6 競技 京都府民総合体育大会結果（平成25年度）	10	7	10	19競技のうち、7競技が入賞（8位まで）を果たした。 今後も競技力の向上を目指す。入賞競技を増やす。また、将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。
10. 京丹後市スポーツ協会の設立				公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253回 公共施設利用状況調査結果（平成24年度）	14,000	15,303	14,000	令和6年度は、高気圧高利用施設となった。その要因としては、使用料等の減価に関する規則が令和5年度に施工され、令和6年度に浸透した点によるのではないかと考えられる。 今後は、長寿化計画（スポーツ施設個別施設計画）を策定し、施設の集約化等、より市民のニーズに則した施設環境づくりが必要である。
11. 京丹後市スポーツ協会の設立				スポーツイベント参加者数	人	—	18,600	12,732	18,600	令和6年度は、例年通りのスポーツイベントを開催し、市内外の参加者が気軽にスポーツができる環境を提供した。 コロナ前の数値には戻っていないが、今後もスポーツ積極の発信を強化し、豊かな地域資源の活用を通じて様々なスポーツのバリエーションや運動が体験できる環境を活かしたスポーツ事業に取り組む必要がある。

6 主要な決算の概要

小学校施設改修事業
中学校施設改修事業
事務局一般経費
教育支援センター管理運営事業
保幼小中一貫教育推進事業
学校情報化推進事業
グローバル人材育成事業
学校適正配置推進事業
中学校丹後学等教育活動実践事業
小学校給食管理運営事業
中学校給食管理運営事業
学校給食センター施設整備事業
放課後児童健全育成事業
子育て支援センター事業
子育て環境整備事業
青少年教育事業
文化芸術事業
人権教育事業
地域公民館管理運営事業
図書館管理運営事業
社会体育団体育成事業
地域スポーツ推進事業
スポーツイベント推進事業
体育施設管理運営事業
遺跡整備事業
地域文化財総合活用推進事業

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	180,305千円		338,271千円	157,966千円	53.3 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業				253,500千円			
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補 学校施設環境改善交付金（1/3） 18,877千円				
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（16校）施設の改修工事等を行う。				市債	小学校施設整備事業債（合併特例債） 113,700千円			
					市債	小学校施設整備事業債（緊急防災・減災事業債） 1,100千円			
					市債	旧小学校施設解体事業債（公共施設等適正管理推進事業債） 21,000千円			
主要な事務・事業の概要	○小学校体育館LED化工事（久美浜町内3校）			57,484千円	○その他改修等工事			15,744千円	
	・工事監理委託料			1,408千円	・網野北小学校特別支援学級空調設備設置工事			1,411千円	
	・工事請負費			56,076千円	・各小学校施設改修工事ほか17件			14,333千円	
	○小学校音楽室空調設備設置工事（市内15校）			33,491千円	○令和7年度工事にに向けた設計業務委託			2,323千円	
	・工事請負費			33,491千円	・弥栄小学校体育館LED化工事設計			1,190千円	
					・網野北小学校下水道接続工事実施設計			1,133千円	
	○峰山小学校グラウンド擁壁改修工事（市道側）			43,498千円	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		180,311千円	
	・工事請負費（前払金）			43,340千円		実質的な予算執行率		99.9%	
	・手数料			100千円					
	・駐車場補償金			58千円	■令和7年度への繰越事業 157,960千円				
					・峰山小学校グラウンド擁壁改修工事（令和7年12月完了予定） 148,460千円				
					・網野北小学校下水道接続工事（令和7年9月完了予定） 9,500千円				
	○高龍小学校寄宿舎解体撤去工事			24,102千円	成果・課題	○峰山小学校グラウンド擁壁改修、市内小学校（15校）音楽室空調設備設置、久美浜町内小学校体育館のLED化工事を行うなどの施設整備を行い、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。			
	・工事監理・解体処分等作業委託料			1,529千円					
	・工事請負費			22,573千円					
	○丹後小学校通級指導室空調設備改修工事			3,663千円					
	・工事請負費			3,663千円					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	18,585千円		19,000千円	415千円	97.8 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業（繰越）					19,000千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補 学校施設環境改善交付金（1/3） 5,555千円				
					市債 小学校施設整備事業債（合併特例債） 12,300千円				
目的		児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（16校）施設の改修工事等を行う。							
主要な事務・事業の概要	○いさなご小学校階段昇降機設置工事 ・工事設計・監理委託料 ・工事請負費 ・建築確認手数料		18,585千円						
			1,585千円						
			16,940千円						
			60千円						
					成果・課題	いさなご小学校階段昇降機設置工事を行い、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	120,818千円		120,820千円	2千円	99.9 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 中学校施設改修事業					151,800千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補 学校施設環境改善交付金（1/3） 24,112千円				
					市債 中学校施設整備事業債（過疎債） 95,400千円				
目的		生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校（6校）施設の改修工事等を行う。							
主要な事務・事業の概要	○峰山・大宮・網野中学校トイレ洋式化改修工事			119,825千円					
	・工事監理委託料			2,733千円					
	・工事請負費			117,092千円					
	○その他改修等工事			993千円					
	・久美浜中学校校舎連結部雨漏り修繕工事			638千円					
	・弥栄中学校外倉庫解体撤去工事			355千円					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	20,303千円		20,523千円	220千円	98.9 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	50 事務局一般経費					17,908千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 1,995千円				
					諸収入 市有自動車損害共済金 364千円				
目的	教育委員会事務局の円滑な運営のための経費を計上するとともに、全国部活動特別入学選抜による入学生に補助金を交付し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図る。 また、次期京丹後市教育振興計画策定に向けた委員会、部活動の地域移行等に関する各検討会を設置、運営するもの。								
主要な事務・事業の概要	○事務局運営に係る経費 9,057千円			【所管課：学校教育課】					
	・会計年度任用職員任用経費（事務補助員3人） 8,164千円			○京丹後市地域部活動検討会議経費 143千円					
	・教育委員会活動点検評価謝金（2人） 40千円			・委員会謝金（1～9人×5回） 124千円					
	・交際費 10千円			・費用弁償 19千円					
	・出張旅費（教育長、職員等） 478千円			○外部人材派遣に係る負担金 6,000千円					
	・消耗品費ほか 365千円			民間企業からの人材派遣（1人）を受け入れ、「新たな教育・人材育成の在り方検討会」まともに係るプロジェクトの総合的なマネジメントを実施。					
	○公用車の維持管理経費 1,563千円			○備品購入費（デジタルカメラ1台） 75千円					
	○各協議会、団体への負担金 143千円								
	○次期教育振興計画策定に向けた経費 617千円			【所管課：生涯学習課】					
	・委員謝金（11人×4回） 244千円			○激励金（スポーツ大会等出場：3団体、43人） 710千円					
・費用弁償 30千円									
・印刷製本費（教育振興計画冊子） 343千円									
○高等学校全国募集入学生応援補助金 1,995千円			成果・課題	○高等学校全国募集入学生応援補助金により、地域のスポーツ風土を生かした部活動を応援することで、人材の育成及び地域の活性化に寄与した。 ○令和6年度に様々な意見を取り入れ、教育委員会の今後の方針を定める新たな教育振興計画を策定した。 ○部活動の地域移行を検討するにあたり、本市の部活動の現状、各関係機関の意見、近隣市町の状況を確認することができた。 ○民間企業からの人材派遣により、その専門性や経験を活かし教育・人材育成に関する各種取組を推進することができた。					
・令和4・5年度入学生 1,680千円									
月額15千円×12月×9人、月額15千円×4月×1人									
・令和6年度入学生 315千円									
月額15千円×12月×1人、月額15千円×9月×1人									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局											
	項	01 教育総務費	15,942千円		16,048千円	106千円	99.3 %													
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額													
	事業	08 教育支援センター管理運営事業						15,225千円	課	学校教育課										
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）		1,041千円												
目的	心理的要因等による不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、所属校や保護者との信頼関係のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充及び基本的生活習慣の改善など、個々の状況に応じて段階的に支援することにより、将来の社会的自立を目指す。		府補		教育支援体制整備事業費補助金（1/3）		19千円													
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金		8,000千円														
主要な事業・事業の概要	不登校やその傾向にある児童生徒について、個々の状況をふまえ、多様な学びの機会をとおして、社会的自立の基盤となる自己肯定感や自己有用感が育める居場所として教育支援センター「麦わら」を設置		＜教育支援センター運営体制・実績＞																	
	○会計年度任用職員任用経費（6人分）		15,351千円	・配置人数 6人 教育支援センター支援員（会計年度任用職員）																
	○消耗品費		111千円	・配置体制 1日当たり3～4人（各支援員 週3日 1日7時間）																
	○管理経費（燃料費、修繕費）		144千円	・通所児童生徒数 17人（小学生8人、中学生9人）																
	○役務費（通信運搬費、自動車登録手数料、損害保険料ほか）		148千円	・相談延べ件数 858件																
	○使用料及び賃借料（コピー機借上料）		163千円	・来所延べ人数 1,119人																
	○備品購入費（図書）		20千円	・延べ訪問回数 36回																
	○公課費（自動車重量税）		5千円																	
				<table><tr><td>年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>通所利用登録者</td><td>21人</td><td>15人</td><td>13人</td><td>17人</td><td>17人</td></tr></table>					年度	R2	R3	R4	R5	R6	通所利用登録者	21人	15人	13人	17人	17人
	年度	R2	R3	R4	R5	R6														
通所利用登録者	21人	15人	13人	17人	17人															
			教育支援センター（峰山町杉谷）の開設は、平成25年1月31日。																	
			成果・課題	○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会的自立を図ることができた。 ○市内の中学校の不登校生徒が増加していることから、府配置のスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,177千円		6,068千円	891千円	85.3 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	13 保幼小中一貫教育推進事業					6,356千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（保幼小中一貫教育推進事業） 2,400千円			
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指すより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。								
主要な事業・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） 86千円 ・委員 15人（学識経験者、PTA役員、学校教職員等） ・開催回数 2回（12月・3月） ・調査研究内容 保幼小中一貫教育実施校における効果と課題の整理		○教育フォーラムの開催（講師謝金、消耗品費） 110千円 開催日： 令和7年1月19日（日） ・場所 アグリセンター大宮 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者、一般参加者 参加者：168人 講 師： 細田 真由美 氏（前さいたま市教育長） 内 容： 先進的な地域の実践から学び、考える「これからの本市教育のあり方」						
	○丹後学モデルカリキュラム改訂（委員謝金、費用弁償） 32千円 ・委員 12人（教職員、地元有識者等） ・開催回数 5回（5・6・7・10・1月）		○特色ある学校づくり、保幼小中連携の取組（各中学校区単位） 4,742千円 ・郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習等の特色ある学校づくりの取組 ・合同講演会、合同授業、部活動体験、体験入学、合唱祭等の保幼小中連携						
	○学力向上対策会議研修会（講師謝金、費用弁償） 60千円 開催日： 令和6年10月28日（月） ・場所 かぶと山小学校 対 象： 市内小中学校教員、教育関係者 参加者：約60人 講 師： 樋口 万太郎 氏（中部大学現代教育学部現代教育学科 准教授） 内 容： 児童生徒の学力向上を目指し、実際の授業を通して指導方法を学ぶ		○事務経費 86千円 小中一貫教育全国サミット（開催地：広島県府中市 出席者：2人） （旅費、小中一貫教育全国連絡協議会負担金）						
	○学園全体研修会（講師謝金、費用弁償） 61千円 開催日： 令和6年8月7日（水） ・場所 アグリセンター大宮 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者 参加者：約80人 講 師： 柏木 智子 氏（立命館大学産業社会学部現代社会学科 教授） 内 容： 子どもが安心できる学校園所づくりに向けた方法等について学ぶ		成果・課題 ○保幼小中一貫教育研究推進協議会、モデルカリキュラム改訂、サミット参加などにより研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。 ○研修会の開催により、児童生徒の学力向上や学校園所づくりの方法等について学ぶ機会を提供することができた。また、教育フォーラムを開催し、本市の教育の在り方について市民への周知を行うことができた。 ○特色ある学校づくりや保幼小中連携の取組の実施により、「丹後学」の充実や学園内の学校園所が一体となった教育活動を行うことができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																										
	項	01 教育総務費	40,181千円		40,440千円	259千円	99.3 %																																												
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																										
	事業	15 学校情報化推進事業					43,091千円																																												
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補 公立学校情報機器整備費補助金（1/3）		440千円																																													
				府補 子どもの教育のための総合交付金（1/2）		165千円																																													
目的	GIGAスクール構想に基づいて整備したICT環境を活用し、児童生徒にとってわかりやすく魅力のある授業を進め、児童生徒の情報利活用能力を育成するほか、児童生徒・教職員1人1台タブレット端末等の電子機器の導入、校内LAN及び学校情報通信ネットワークを維持管理するとともに、教育のICT化及び校務の効率化を図る。																																																		
主要な事業・事業の概要	○需用費		2,302千円		OICT教育実践研修（地域力創造アドバイザー制度活用事業）					204千円																																									
	・ パソコン・校内LAN関連消耗品、修繕費		2,302千円		・ 講師謝金（峰山中学校2回、かぶと山小学校1回）					204千円																																									
	○通信運搬費		1,061千円		<参考>パソコン等台数（令和7年3月末時点）（単位：台）																																														
	・ Wi-Fiルータ通信費		13千円		<table><tr><th>区分</th><th>種別</th><th>小学校</th><th>中学校</th><th>事務局</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="3">普通教室用</td><td>ノートPC</td><td>16</td><td>0</td><td>0</td><td>16</td></tr><tr><td>タブレット</td><td>146</td><td>57</td><td>0</td><td>203</td></tr><tr><td>タッチパネル式電子黒板</td><td>146</td><td>57</td><td>0</td><td>203</td></tr><tr><td>校務用</td><td>ノートPC</td><td>299</td><td>201</td><td>42</td><td>542</td></tr><tr><td>図書室用</td><td>ノートPC</td><td>16</td><td>6</td><td>0</td><td>22</td></tr><tr><td>授業用</td><td>iPad</td><td>2,691</td><td>1,544</td><td>17</td><td>4,252</td></tr></table>							区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計	普通教室用	ノートPC	16	0	0	16	タブレット	146	57	0	203	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203	校務用	ノートPC	299	201	42	542	図書室用	ノートPC	16	6	0	22	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252
	区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計																																													
	普通教室用	ノートPC	16	0	0	16																																													
		タブレット	146	57	0	203																																													
		タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203																																													
	校務用	ノートPC	299	201	42	542																																													
	図書室用	ノートPC	16	6	0	22																																													
	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252																																													
	・ 光回線通信費		1,048千円																																																
	○手数料（電子黒板等移設手数料）		44千円																																																
	○委託料		13,092千円																																																
	・ サーバシステム・パソコン・校内LAN等保守委託料		1,505千円																																																
・ 校務支援システム改修委託料		264千円																																																	
・ 校務支援システム保守委託料		726千円																																																	
・ ICT支援員業務委託料（5人）		10,377千円																																																	
・ 校務用パソコンマスター更新作業委託料		220千円																																																	
○使用料及び賃借料		23,465千円		成果・課題	○総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、教職員のICTを活用した授業や取組みの質の向上を図った。 ○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン（校務、普通教室、タブレット）、電子黒板及びサーバー機器、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を適切に行うことができた。 ○引き続きICT支援員を適切に配置し、授業改善に向けて児童生徒と教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用していく必要がある。																																														
・ パソコン借上料（校務用パソコン、サーバー）		9,892千円																																																	
・ ソフトウェア使用料		13,505千円																																																	
校務支援システム、ウイルス対策ソフト、採点支援システムほか																																																			
・ クラウドサービス利用料（Googleアカウントドメイン取得等）		68千円																																																	
OEDIX大阪視察（職員旅費、有料道路使用料）		13千円																																																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	23,040千円		23,080千円	40千円	99.8 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	16 グローバル人材育成事業					22,429千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補 子どもの教育のための総合交付金（1/2） 10,512千円				
目的			国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を中心に、諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。		繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 12,448千円	諸収入 国際交流事業等参加料 80千円			
主要な事業・事業の概要	OKyotango English Day【対象：小3・4年】			10千円	○中学生の海外派遣【対象：中2年】 11,946千円				
	CIR・ALTによる異文化理解・国際交流プログラム				学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、中学生を海外へ派遣した。				
	実施日：令和6年10月5日（土） 参加者数：30人				派遣先：オーストラリア パース 参加者数：20人（選考）				
	（通信運搬費）				派遣期間：令和7年3月8日（土）～16日（日） 8泊9日間				
	OKyotango English Camp【対象：小5・6年】			231千円	（バス運転委託料、旅費、中学生海外派遣事業費補助金ほか）				
	CIR・ALTによる1泊2日の異文化理解・国際交流プログラム				OKyotango Sea Labo【対象：中3年・高校生】 5,197千円				
	実施日：令和6年10月5日（土）・6日（日） 参加者数：16人				グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、丹後学・デザイン思考・STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を英語で開催した。				
	（通信運搬費、施設使用料ほか）				実施日：令和6年8月5日（月）～9日（金）、9月7日（土）				
	○オンライン留学【対象：中1年、高校生】			3千円	参加者数：35人（中学3年生：31人、高校生：4人）				
	フィリピンとのオンライン交流を実施				（委託料、講師謝金、費用弁償、施設使用料ほか）				
※全体研修7回、各家庭でのオンライン交流複数回				成果・課題	○国際交流プログラムの実施により語学力の向上を図ることができた。また、国際的視野をもつ児童生徒を育成するため、さらなる内容の充実を図る必要がある。 ○ICTの活用やオンラインによる交流を充実させることにより、語学力及び学ぶ意欲の向上を促進するとともに、国際的視野を広げることができた。 ○3年間のワークショップを経て、京丹後市版のプログラムが完成した。このプログラムを令和7年度から市教育委員会主体で実施し、さらなるグローバル人材の育成を図る。				
事業期間：令和6年10月8日（火）～12月6日（金）									
参加者数：中学生27人、高校生4人									
（通信運搬費）									
○英語力向上アプリ導入【対象：市内全中1～3年】			5,653千円						
一人一台配付しているタブレットにアプリを導入し、学校及び家庭学習において発音とスピーキング能力を中心とした英語力の向上に取り組んだ。									
（ライセンス使用料、通信運搬費ほか）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	759千円		761千円	2千円	99.7 %	課	学校教育課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	19 学校適正配置推進事業					843千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	「京丹後市学校適正配置基本計画」を円滑に推進するため、適正配置に向けた具体的な取組を進めるとともに、適正配置校・拠点校の式典準備を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○吉野小学校適正配置関連経費（弥栄小学校へ適正配置） ・消耗品（弥栄小学校式典用消耗品、看板、装飾花ほか） ・学校記念誌発行補助金（吉野小学校閉校記念誌 405冊） ※吉野小・弥栄小学校づくり準備協議会（令和5年4月20日設置） ※令和6年4月に吉野小学校を弥栄小学校へ適正配置		759千円 152千円 607千円		成果・課題 ○令和5年4月20日に設置した「学校づくり準備協議会」での検討結果等を踏まえ、計画通りの適正配置を実現することができた。 ○吉野小学校閉校記念誌の発行に向けて、京丹後市立学校記念誌発行補助金交付要綱に基づき、本補助金を適正且つ迅速に執行することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	1,421千円		1,478千円	57千円	96.1 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業					1,161千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実		府補 子どもの教育のための総合交付金（10/10） 400千円				
目的	教員の指導力向上や、生徒の自己肯定感を高め未来を拓く力を身につけるため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探究を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業 632千円 ・着付け体験学習（クリーニング代金、講師謝金 等） 222千円 参加者：439人 ・丹後学、総合的な学習活動 410千円 市単独事業、全中学校で実施（講話学習、職場体験 等） ○教育実践研究指定事業（謝金、消耗品費、バス運転委託料） 400千円 ・未来を拓く学校づくり推進事業 200千円 実施校：網野学園 ※府補助事業（補助率10/10） 実施年度：令和4年度～6年度（3か年） ・未来の担い手育成プログラム研究校 200千円 実施校：丹後中学校 ※府補助事業（補助率10/10） 実施年度：令和4年度～6年度（3か年）			○教育研究事業負担金 56千円 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。 ○修学旅行引率補助金 333千円 6校、引率教員48人					
	成果・課題	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、丹後学の推進につながった。 ○府の研究指定を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費					99.9 %				
	目	04 学校給食費	257,585千円		257,725千円	140千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	03 小学校給食管理運営事業					261,728千円				
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			29,000千円		
					諸収入	小学校給食調理機器類貸付料			6,876千円		
					市債	小学校給食備品整備事業債（合併特別債）			3,200千円		
目的			児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。								
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。				○協議会等負担金					25千円	
	○給食調理				13,739千円	○学校給食材料費支援補助金					29,118千円
	・燃料費（ガス）				12,222千円	保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。					
	・修繕料（調理機器）				1,517千円						
	○給食調理業務委託料（網野地域を除く全12校）				210,433千円						
	峰山、いさなご、しんざん、長岡、大宮第一、大宮南、丹後、宇川、弥栄、久美浜、高龍、かぶと山小学校										
	○備品購入費				4,270千円						
	冷凍冷蔵庫1台（しんざん小学校）				711千円	成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。 ○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで物価高騰による保護者負担を軽減できた。				
	消毒保管庫1台（久美浜小学校）				912千円						
	スチームコンベクションオープン1台（しんざん小学校）				1,833千円						
食器（峰山、いさなご、大宮第一小学校）				814千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費					99.6 %				
	目	04 学校給食費	83,480千円		83,759千円	279千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	04 中学校給食管理運営事業					86,686千円				
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金				21,000千円	
					諸収入	中学校給食調理機器類貸付料				2,004千円	
目的	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。				市債	中学校給食備品整備事業債（合併特別債）				300千円	
主要な事務・事業の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。 ○会計年度任用職員任用経費 ・調理補助員：峰山中学校1人、大宮中学校1人 報償費、期末手当、共済費、費用弁償 ○給食調理 ・消耗品費 ・燃料費（ガス） ・修繕料（調理機器） ・包丁研磨手数料				4,782千円		○備品購入費 ガス回転釜（弥栄中学校）1台 検査用フリーザー（峰山中学校）1台				614千円 420千円 194千円
							○協議会等負担金				37千円
							○学校給食材料費支援補助金				21,417千円
							保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。				
	○給食調理業務委託料 ・委託料（網野中学校を除く5校中3校を委託） 丹後、弥栄、久美浜中学校				49,550千円		成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。 ○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで、物価高騰による保護者負担を軽減できた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費					99.2 %		課
	目	04 学校給食費	1,342,241千円		1,351,826千円	9,585千円	(参考)当初予算額		
	事業	05 学校給食センター施設整備事業					1,464,724千円		
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実						
目的	網野学校給食センターについて、建築後37年が経過し、施設の老朽化が進行していることなどから、学校給食衛生管理基準に適合した、より衛生的で安全性を重視した給食施設とするため建替え、整備を行うもの。併せて、旧網野学校給食センターの除却を行うもの。		主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）				43,007千円
		国補		学校施設環境改善交付金（1/2）				953千円	
		市債		学校給食センター整備事業債（過疎債）				1,250,600千円	
		市債		学校給食センター整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）				4,500千円	
主要な事務・事業の概要	○新網野学校給食センター施設整備工事		1,126,848千円		○備品購入費		203,321千円		
	・手数料		383千円		・専用厨房機器、その他厨房機器、その他給食備品				
	・工事監理委託料		5,374千円						
	・工事請負費		1,121,091千円		○水道加入分担金		438千円		
	建築主体工事		622,303千円						
	電気設備工事		143,590千円						
	機械設備工事		355,198千円						
	○旧網野学校給食センター施設解体撤去工事		5,100千円		■継続費設定による通次繰越額（令和6年度から令和7年度の継続事業）				
	・工事請負費（前払金）		5,100千円		・旧網野学校給食センター施設解体撤去工事（令和7年12月完了予定）		9,520千円		
○各種手数料		320千円							
・家電リサイクル、ケーブルテレビ加入、施設設備撤去、設計審査、電話設置等、廃家電処理、備品移設、備品処分									
○各種委託料		6,214千円							
・情報通信機器等設置、荷物運搬作業、備品移設、地下タンク清掃									
				成果・課題	「学校給食衛生管理基準」に適合し、食物アレルギー対応を考慮した、より衛生的で安全性を持つ給食施設を整備するため、新しい網野学校給食センター建設に向けた工事を進めることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部													
	項	02 児童福祉費																			
	目	02 子育て支援費					課	こども未来課													
	事業	02 放課後児童健全育成事業																			
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	使用料	公有財産使用料、放課後児童健全育成事業利用料		34,752千円													
目的	保護者の就労や疾病その他の理由により、学校の放課後、長期休業期及び土・日曜日等に適切な保育が受けられないと認められる家庭の小学校の児童に対し、適切な遊びや生活の場を与えることにより、児童の健全な育成と子育て支援の推進を図る。	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		27,989千円																
		府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		27,989千円																
		府補	きょうと地域連携交付金（放課後児童クラブ 休日開所事業）		1,300千円																
		繰入金	ふるさと応援基金繰入金		150,000千円																
		市債	放課後児童健全育成施設整備事業債（合併特例債）		1,400千円																
主要な事務・事業の概要	○クラブ運営経費			272,167千円		地域				名称	開催場所	人(平均)	地域	名称	開催場所	人(平均)					
	・放課後児童クラブ運営業務委託料（11クラブ）			269,099千円		峰山	峰山①	旧丹波小学校	61	網野	網野南	網野南小学校内	51								
	・光熱水費（大宮、口大野、弥栄）			2,414千円			峰山②		31		網野北	網野北小学校内	40								
	・通信運搬費			654千円			長岡	長岡小学校内	24		丹後	丹後	丹後地域公民館内	21							
	○施設維持管理経費			2,698千円			いさなご	いさなご小学校内	63		弥栄	弥栄	旧溝谷保育所	33							
	・網戸設置（口大野、網野北）			70千円		大宮	大宮	大宮北保育所内	54	久美浜	久美浜	久美浜小学校内	44								
	・テラス支柱腐食修繕（口大野）			132千円			口大野①	旧口大野保育所	58		海部	旧海部小学校	41								
	・委託料（消防用設備保守点検、浄化槽維持管理等）			240千円			口大野②		60												
	・エアコン更新工事（網野北、口大野）			1,508千円																	
	・その他維持管理経費（火災保険料、手数料、備品購入等）			748千円		・開設日								月曜日～土曜日（休日、年末年始、盆時期は閉所）							
	○児童送迎車運行経費			12,748千円										※峰山放課後児童クラブのみ、日曜日・祝日も開設							
	・運転業務委託料（11台）			10,457千円										・開設時間				授業終了時～午後6時30分			
	・燃料費、車両修繕、保険料、運転手適性診断受診手数料等			2,291千円														長期休業期及び土・日曜日等は、午前7時30分～午後6時30分			
	■児童クラブ開設状況					成果・課題	○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。														
	・年間開設日数：343日（うち峰山のみ日曜日・祝日開設：61日）						○利用者の増加に対応できるよう、学校の空き教室の活用など施設の確保を考えていく必要がある。														
	・年間平均利用登録児童数：581人（11か所、13支援単位）																				
	・日曜日、祝日利用登録児童数：28人 日曜日、祝日利用延べ人数：155人																				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部	
	項	02 児童福祉費	30,812千円		31,639千円	827千円	97.3 %			
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	子育て支援課	
	事業	03 子育て支援センター事業					31,361千円			
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		9,654千円		
目的			地域の子育て支援の拠点として、市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供などを行い、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。		府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）		9,654千円		
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（指導員：19人）		26,397千円	【子育て支援センター】延べ利用人数			【なかよし広場（全12回）】			
	○こうりゅう地域子育て支援センター運営委託料		2,568千円	支援センター			児童	保護者	実施月：R6.4月～R7.3月（月1回）	
	○その他の運営経費		1,847千円	峰山			1,444人	1,295人	場所：峰山総合福祉センター	
	・消耗品費（事務用品、保育材料、消毒用品、コピー料等）		403千円	大宮北			1,108人	970人	児童：203人 保護者：190人	
	・燃料費（灯油代、ガス代）		153千円	大宮南			866人	862人		
	・光熱水費（電気料、上下水道料）		868千円	網野			2,038人	1,720人	【子育て交流会】	
	・修繕費（網野地域子育て支援センター照明器具取替）		20千円	丹後			394人	343人	場所：網野地域子育て支援センター	
	・通信運搬費（電話料）		247千円	弥栄			717人	634人	開催日	
	・委託料（施設警備、消防設備等保守点検）		57千円	こうりゅう			499人	456人	10月21日	
	・使用料及び賃借料（コピー機借上料）		99千円	合 計			7,468人	6,675人	26人 23人	
									10月28日	
									38人 35人	
									合 計	
									64人 58人	
							</			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	こども部			
	項	02 児童福祉費	5,602千円		5,700千円	98千円	98.2 %					
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	こども未来課			
	事業	05 子育て環境整備事業					2,000千円					
基本計画			25 子育て支援の総合的な推進			主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（子育て環境整備事業）		1,400千円		
目的	子育て環境の充実を図り、子どもを地域社会全体で育て、支える仕組みづくりを推進することを目的に、市内で行われる子育て支援に関する活動等を支援する。 また、屋内あそび場のニーズを把握し都市拠点公共施設内における整備につなげることを目的に、様々な子ども向け遊具を設置した「一日こども広場」を市制20周年記念事業として開催する。			府補	きょうと地域連携交付金（一日こども広場開催事業）		1,300千円					
				寄附金	ふるさと応援寄附金		300千円					
主要な事務・事業の概要	○子育て環境整備応援プロジェクト補助金			2,853千円		○「一日こども広場」イベント開催経費					2,749千円	
	・補助対象者			市内で子育て支援活動に取り組む者等		・消耗品費（看板作製経費）					20千円	
	・補助対象経費等					・印刷製本費（広報チラシ作製経費）					89千円	
						・イベント企画運営委託料（市内3会場実施分）					2,640千円	
						【実績】						
						開催日				会場	参加者数	
						令和6年10月20日（日）				峰山会場・峰山総合福祉センター	80組・248人	
						令和6年10月27日（日）				網野会場・網野体育センター	91組・275人	
						令和6年11月10日（日）				久美浜会場・久美浜公会堂	50組・149人	
						合 計				221組・672人		
					・対象：市内在住の乳幼児～小学校3年生の児童と保護者							
					・内容：様々な子ども向け遊具を設置した屋内あそび場の提供等							
					成果・課題	○子育て支援に取り組む団体等を支援することにより、地域の子育て支援者や子育て世帯が集い情報交換や交流の場を提供することができた。						
						○市内事業所のおむつ替え設備等の整備を支援することにより、市内の子育て環境の充実を図ることができた。						
					○子育て環境の充実に向け、活動団体等への支援が引き続き必要である。							
					○イベント開催を通じて、子育て世代のニーズに応えるとともに、都市拠点公共施設整備に向けたニーズ調査や気運醸成につなげることができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費	1,106千円	1,126千円	20千円	98.2 %						
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課				
	事業	02 青少年教育事業				1,240千円						
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実									
目的			本市の将来を担う青少年が心豊かに成長することができるよう、地域の青少年を守り育てる活動及び団体を支援する。									
主要な事務・事業の概要	○児童合唱団補助金 音楽を通して自分を表現する力や社会性を身に付けるなど、豊かな心をはぐくむ活動を支援 補助金 大宮：69千円、網野32千円、久美浜105千円 ○京丹後市青少年健全育成会補助金 家庭、地域社会、学校等関係団体と行政が連携・協力し、青少年の健全育成に資する活動・地域づくりを支援 ◇あいさつ運動（開催場所：市内中学校、高等学校 10か所）（参加人数延べ352人） ◇夏祭りパトロール（開催場所：丹後、網野、久美浜 3か所）（参加人数延べ62人） ◇青少年体験事業 カヌー体験教室（10人）、親子でおさかな料理教室（18人） おもしろ科学実験教室（170人）、パラスポーツ体験会（100人） ◇講演会（教育フォーラム共催）（180人） ◇総会、研修会（30人） ◇たよりの発行（京丹後市内全戸配布）			206千円 400千円			○地域子ども教室活動補助金 地域の中で、子どもたちが健やかに成長できる安全な場所を確保するとともに、地域全体で子どもを守り育てる活動を支援 補助金 100千円×5団体 対象地域 新山ひこばえの集い（峰山町荒山区） ブーフ・まむ（大宮町善王寺区） 久美浜二区子ども広場（久美浜町二区） 土曜お楽しみ会（久美浜町川上・海部・佐濃地区） チャレンジ教室（久美浜町神野地区）			500千円		
	成果・課題			○青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。 ○教育フォーラムを学校教育課と共催することで、広く地域団体に理解してもらった。 ○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を推進する必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	36,003千円		36,371千円	368千円	98.9 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	05 文化芸術事業					36,948千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 デザ 外田園都市国家構想交付金 1,396千円				
					繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 2,490千円				
目的			令和5年度に策定した「文化芸術振興計画」に基づき、だれもが文化芸術に親しみ、人が輝き、豊かで活力ある生活が送れるよう、市民等が相互に連携し、一体となって文化芸術によるまちづくりを推進するため、各種文化芸術活動を支援する。	諸収入 社会教育事業等負担金 3千円					
主要な事務・事業の概要	○文化芸術振興審議会（2回） 117千円			○丹後文化事業団運営費補助金 27,000千円					
	・委員報酬（対象：15人中13人）、アドバイザー謝金（1人） 108千円			文化事業団運営経費、人件費、施設管理費等に対する補助金					
	・委員費用弁償 9千円			○京丹後市文化協会活動補助金 3,500千円					
	○文化芸術のまちづくり推進会議（4回） 155千円			各種文化振興事業及び事務局員賃金に対する補助金					
	・委員謝金（15人）、アドバイザー謝金（2人） 145千円			○丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金 60千円					
	・アドバイザー費用弁償（1人） 10千円			障害者等によるアート作品の発表の場を創出する事業に対する補助金					
	○おとまち響プロジェクト 119千円			○京丹後アートフェスティバル開催経費 1,520千円					
	・ピアノ調律手数料（2台） 119千円			市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供（令和6年9月～12月開催）					
	○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金 1,232千円			・知るプログラムに関する経費 400千円					
	落語体験塾（ワークショップ）、落語会を開催 1,232千円			・みるプログラムに関する経費 901千円					
○京丹後市市制20周年記念文化公演実行委員会 1,000千円			・ワークショップフェア、その他経費 219千円						
・丹後能（令和6年9月29日開催、参加者562人）									
・田中彩子リサイタル（令和6年12月8日開催、参加者420人）									
○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円			成果・課題	○優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供及び地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。					
北部2市2町と丹後文化事業団で設置する実行委員会が、展示会や発表会を開催する経費に対する補助金				○京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進するために発足した京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議で、文化芸術によるまちづくりを具体的に進めるための検討を行った。					
			○（公財）京都府丹後文化事業団及び京丹後市文化協会等、各団体の自立運営に向けた支援をしていく必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	91千円		125千円	34千円	72.8 %		課
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額		
	事業	06 人権教育事業					178千円		
基本計画			22 人権を尊重するまちづくり	府補 人権問題啓発事業費補助金（1/2） 35千円					
目的	人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めるための学習機会の提供などを通じ、さらなる人権教育を推進する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○人権教育研究京丹後市大会の開催経費			77千円					
	・講師謝金			72千円					
	・消耗品費（資料用紙等）			5千円					
	【人権教育研究京丹後市大会（R6.8.21） 参加者：200人】 講演「大好きは 魔法の言葉」 講師 作家・映画監督・元特別支援学校教諭 山元 加津子 氏 （会場：アグリセンター大宮）								
	○その他経費（消耗品費）			14千円					
	（参考）視覚・聴覚障害者交流研修会の開催 【視覚障害者交流研修会（R6.6.27） 参加者：14人】 【聴覚障害者交流研修会（R6.11.1） 参加者：8人】 講話「大阪・関西万博で見ることのできる未来」、型を使った染色体験 （会場：大宮ふれあい工房）								
	成果・課題	○人権教育研究京丹後市大会を通じ、人権学習の機会を提供することができた。また、障害者交流研修会を通じて、障害者の交流及び社会参加の促進につなげることができた。 ○誰もが平等で、人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に行動できるよう、啓発活動だけでなく学習の機会を充実させる必要がある。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																			
	項	04 社会教育費	31,928千円		38,933千円	7,005千円	82.0 %																																					
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																			
	事業	02 地域公民館管理運営事業					29,409千円																																					
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館使用料		1,014千円																																						
	府補		きょうと地域連携交付金（高齢者教育事業）		600千円																																							
	諸収入		地域公民館光熱水費負担金等		429千円																																							
	諸収入		社会教育事業等参加料		661千円																																							
目的	社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりをめざして各町に地域公民館を設置し、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供し、学習環境の整備・充実を図る。また、社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館施設の管理運営を行う。	市債	社会教育施設整備事業債（合併特例債）		5,200千円																																							
主要な事務・事業の概要	○講座・教室等の実施、地域公民館事業の広報		1,704千円		＜主な公民館事業＞ ※ 参加者数は延べ人数																																							
	・報償費（講師謝金、報償物品）		1,328千円		<table><tr><th>事業種別</th><th>事業・講座名</th><th>回数</th><th>参加者数</th><th>実施額</th></tr><tr><td rowspan="3">成人教育</td><td>ふるさと探求講座(網野・丹後・久美浜)</td><td>3回</td><td>22人</td><td>19千円</td></tr><tr><td>ピラティス講座(大宮)</td><td>8回</td><td>89人</td><td>48千円</td></tr><tr><td>膝痛改善プログラム体験講座(久美浜)</td><td>3回</td><td>43人</td><td>18千円</td></tr><tr><td rowspan="2">青少年</td><td>夏休み子ども体験教室(峰山・大宮・弥栄・久美浜)</td><td>7回</td><td>76人</td><td>16千円</td></tr><tr><td>教育</td><td>網野町ウイークエンド事業(網野)</td><td>12回</td><td>259人</td><td>137千円</td></tr><tr><td>家庭教育</td><td>親子ふれあいスクール(久美浜)</td><td>3回</td><td>46人</td><td>12千円</td></tr></table>					事業種別	事業・講座名	回数	参加者数	実施額	成人教育	ふるさと探求講座(網野・丹後・久美浜)	3回	22人	19千円	ピラティス講座(大宮)	8回	89人	48千円	膝痛改善プログラム体験講座(久美浜)	3回	43人	18千円	青少年	夏休み子ども体験教室(峰山・大宮・弥栄・久美浜)	7回	76人	16千円	教育	網野町ウイークエンド事業(網野)	12回	259人	137千円	家庭教育	親子ふれあいスクール(久美浜)	3回	46人	12千円		
	事業種別	事業・講座名	回数	参加者数						実施額																																		
	成人教育	ふるさと探求講座(網野・丹後・久美浜)	3回	22人						19千円																																		
		ピラティス講座(大宮)	8回	89人						48千円																																		
		膝痛改善プログラム体験講座(久美浜)	3回	43人	18千円																																							
	青少年	夏休み子ども体験教室(峰山・大宮・弥栄・久美浜)	7回	76人	16千円																																							
		教育	網野町ウイークエンド事業(網野)	12回	259人	137千円																																						
	家庭教育	親子ふれあいスクール(久美浜)	3回	46人	12千円																																							
	○京丹後市民大学開催経費（講師謝金、消耗品費）		179千円																																									
	対象者：18歳以上の市民、講座回数：6回、受講人数：114人																																											
	○地域公民館施設等維持管理経費		24,569千円																																									
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）		12,727千円																																									
	・役務費（通信運搬費、手数料）		265千円																																									
	・委託料（施設管理、施設清掃、宿日直ほか）		11,307千円																																									
	・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料）		270千円																																									
	○峰山地域公民館トイレ洋式化工事		5,476千円																																									
・設計監理委託料、工事請負費		5,476千円																																										
＜貸館施設の利用状況＞																																												
<table><tr><th>区 分</th><th>利用回数</th><th>延べ利用者数</th><th>施設等維持管理経費</th></tr><tr><td>峰山地域公民館</td><td>2,187回</td><td>17,711 人</td><td>14,685千円</td></tr><tr><td>丹後地域公民館</td><td>636回</td><td>11,989 人</td><td>7,348千円</td></tr><tr><td>弥栄地域公民館</td><td>598回</td><td>13,200 人</td><td>7,148千円</td></tr></table>		区 分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費	峰山地域公民館	2,187回	17,711 人	14,685千円	丹後地域公民館	636回	11,989 人	7,348千円	弥栄地域公民館	598回	13,200 人	7,148千円																											
区 分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費																																									
峰山地域公民館	2,187回	17,711 人	14,685千円																																									
丹後地域公民館	636回	11,989 人	7,348千円																																									
弥栄地域公民館	598回	13,200 人	7,148千円																																									
		成果・課題	○市民に多様な分野の学習機会を提供することで、充実した社会教育活動を推進することができた。 ○各公民館施設の老朽化により、修繕が必要な箇所が多いことから、計画的な修繕を検討する必要がある。																																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	84,132千円		169,131千円	84,999千円	49.7 %		課
	目	04 図書館費					(参考)当初予算額		
	事業	01 図書館管理運営事業					78,181千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	寄附金 ふるさと応援寄附金 300千円 繰入金 ふるさと応援基金繰入金 5,000千円 市債 社会教育施設整備事業債（合併特例債） 3,000千円				
目的	生涯学習の拠点施設として、市民の読書・調査研究等の要求に応えるよう、様々な資料・情報を収集・整理・保存し、提供するための図書館・図書室の運営及び環境を整える。 また、子どもの読書活動推進のため、保育所・こども園、学校、地域、ボランティアなどと連携し、子どもから大人まで幅広く利用者の拡大を図るための各種行事等を企画・運営する。								
主要な事務・事業の概要	〇図書館協議会委員報酬等（委員10人、協議会2回）		65千円		<利用状況等>				
	〇市立図書館（2館4室）の管理運営費		80,810千円						
	・会計年度任用職員任用経費（常勤19人、代行12人）		65,529千円						
	・図書購入費（AV資料含む）		6,302千円						
	・雑誌及び新聞購入費		1,395千円						
	・ブックスタート事業経費（235人に実施、絵本配付）		139千円						
	・Wi-Fiルーター通信料		136千円						
	・図書システム利用料、保守委託料、設定手数料		3,314千円						
	・光熱水費（あみの図書館）		2,242千円						
	・その他（図書装備用品等）		1,753千円						
〇あみの図書館空調設備改修工事		3,257千円		※市民1人当たりの年間貸出冊数：5.20冊（個人貸出点数/R6年度末人口） ※（インターネット）：インターネットでの貸出延長処理					
・工事設計監理委託料		3,257千円							
参考		繰越明許費を除いた最終予算額	84,475千円		成果・課題				
		実質的な予算執行率	99.5%						
■令和7年度への繰越事業		84,656千円							
・あみの図書館空調改修工事（令和7年9月完了予定）		84,656千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部 課	教育委員会事務局																																													
	項	05 保健体育費	19,290千円	19,290千円	0千円	100.0%	生涯学習課																																															
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額																																																
	事業	01 社会体育団体育成事業				19,290千円																																																
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																																																	
目的	市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う（一社）京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。 また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動及び子どもスポーツ推進事業を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。																																																					
主要な事務・事業の概要	〇（一社）京丹後市スポーツ協会活動補助金 15,727千円 ・加盟団体数：18団体（2,125人） ※令和7年3月末現在 ・各種事業の実施 スキルアップ研修会の開催（令和6年7月24日、令和7年2月21日） 各競技団体の活動支援（年間） スポーツ講演会の実施（令和7年3月15日） ・市主催事業への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝） ・広報紙の発行（年3回） 〇京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金 3,563千円 ・加盟団体数：60団体（児童生徒数：1,352人、指導者数：338人） ・事業内容：指導者研修会の開催、各加盟団体支援、募集チラシの発行		＜京丹後市青少年スポーツ協会 種目別加盟団体数＞																																																			
			<table><tr><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td></tr><tr><td>野 球</td><td>10</td><td>柔 道</td><td>1</td><td>卓 球</td><td>1</td></tr><tr><td>バレーボール</td><td>9</td><td>硬式テニス</td><td>2</td><td>複合(複数種目)</td><td>1</td></tr><tr><td>バスケットボール</td><td>6</td><td>ソフトテニス</td><td>2</td><td>カヌー</td><td>1</td></tr><tr><td>サッカー</td><td>6</td><td>バドミントン</td><td>2</td><td>レスリング</td><td>1</td></tr><tr><td>空手道</td><td>6</td><td>少林寺拳法</td><td>1</td><td>スキー</td><td>0</td></tr><tr><td>陸 上</td><td>5</td><td>新体操</td><td>1</td><td rowspan="2">合 計</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>剣 道</td><td>4</td><td>体 操</td><td>1</td></tr></table>						種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数	野 球	10	柔 道	1	卓 球	1	バレーボール	9	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1	バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1	サッカー	6	バドミントン	2	レスリング	1	空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	0	陸 上	5	新体操	1	合 計	60	剣 道	4	体 操	1
			種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数																																														
			野 球	10	柔 道	1	卓 球	1																																														
			バレーボール	9	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1																																														
バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1																																																	
サッカー	6	バドミントン	2	レスリング	1																																																	
空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	0																																																	
陸 上	5	新体操	1	合 計	60																																																	
剣 道	4	体 操	1																																																			
※複合(複数種目)：年間を通じて、さまざまな種目のスポーツを実施する団体																																																						
成果・課題																																																						
						〇スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 〇京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。 〇一般社団法人へ組織変更から2年が経過した市スポーツ協会について、組織強化及び発展的な活動・運営となるよう引き続き支援する必要がある。																																																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	7,289千円		7,347千円	58千円	99.2 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	02 地域スポーツ推進事業					6,281千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（スポーツ・サイエンス推進事業） 2,700千円				
目的	市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供するほか、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大とスポーツを通じた交流機会を確保する。		繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 238千円						
			諸収入 スポーツ大会参加料 8千円						
主要な事務・事業の概要	○報償費（はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金等）		23千円		<大会等実施状況>				
	○旅費		3千円		大会名 開催日 参加者等				
	○需用費（消耗品費、食糧費）		280千円		京丹後市総合スポーツ大会 5/12～2/23 13競技、1,027人				
	○委託料		1,239千円		京都府民総合体育大会 8月～2月 14競技参加、入賞7競技				
	・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料		100千円		ジュニアカヌースプリント春季大会 5/18(土) 33人				
	・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料		828千円		北近畿中学生ソフトテニス大会 6/2(日) 6市2町14校 64ペア				
	・京丹後市民陸上記録会運営委託料		300千円		京丹後市民陸上記録会 6/30(日) 110人				
	・衛星放送アンテナ設置作業委託料		11千円		市長杯争奪中学校野球大会 7/6(土)、7(日) 市内5校				
	○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料）		46千円		パリオリンピックパブリックビューイング 8/9～8/11 延べ200人				
	○補助金		4,320千円		ジュニアカヌースプリント秋季大会 10/20(日) 荒天につき中止				
	・京都府民総合体育大会派遣費補助金		1,500千円		はしうど杯卓球選手権大会 12/7(土) 1市1町、7校、75人				
	・京丹後市総合スポーツ大会開催補助金		2,820千円		野村克也講演会 12/14(土) 400人				
	○野村克也メモリアル事業		1,378千円		成果・課題				
	・野村克也講演会に係る講師謝金（赤星薫広氏、山田雅人氏）		885千円						
	・野村克也講演会開催経費（消耗品費、食糧費、印刷製本費、会場使用料等）		143千円						
	・野村克也杯学童野球大会実行委員会補助金		350千円						
			令和6年8月に開催、参加者17チーム・280人						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	7,744千円		7,843千円	99千円	98.7 %			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額			
	事業	03 スポーツ・サイエンス推進事業						5,148千円	課	生涯学習課
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（スポーツ・サイエンス推進事業）		1,600千円			
目的	観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。			寄附金	ふるさと応援寄附金		2,470千円			
				諸収入	地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金）		1,360千円			
				諸収入	市有自動車損害共済金		221千円			
主要な事務・事業の概要	<スポーツイベントの実施状況等>									
	イベント名		開催日程	会 場	参加者等	関係予算（負担金・補助金）執行内容				
	パラカヌーサポーター講習会		7/6(土)	久美浜湾	18人	講師謝金（2人分）		155千円		
	京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会		8/4(日)	久美浜湾	94チーム、1,109人	実行委員会への補助金		1,700千円		
	第22回丹後100kmウルトラマラソン		9/14(日)	京丹後市内	2,568人	実行委員会への補助金		200千円		
	丹後大学駅伝（第86回関西学生対校駅伝競走大会）		11/16(土)	丹後地域	22チーム、331人	バス運転委託料		748千円		
						後援会への負担金		600千円		
	第58回久美浜湾一周駅伝競走大会		11/23(土・祝)	久美浜湾周辺	44チーム、321人	大会特別企画事業補助金		2,470千円		
						大会運営委託料		1,270千円		
	バラスポーツ体験会		12/22(土)	大宮	79人	バス運転委託料		73千円		
						講師謝金（4人分）		128千円		
	合 計				4,426人			7,344千円		
	○その他経費		400 千円		成果・課題	○年間を通じて、各種大会を実施し、参加者のほか、応援者、関係者等含め多くの参加者を得て、地域における経済効果及び市の魅力発信を図ることができた。 ○第86回目を迎えた丹後大学駅伝では、前年度に続きガバメントクラウドファンディングにより、青山学院大学がオープン参加した。また、地上波でのテレビ放送も行われ、中継所やフィニッシュ地点では、小中学生による応援や吹奏楽で盛り上げ、丹後地域を広くPRすることができた。				
	・消耗品費		10 千円							
・燃料費（丹後大学駅伝）		46 千円								
・公用車修繕経費		344 千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費	61,901千円		119,292千円	57,391千円	51.8 %		課	生涯学習課	
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額				
	事業	01 体育施設管理運営事業					44,367千円				
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	社会体育施設使用料				1,427千円	
目的	市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。	使用料	公有財産使用料				122千円				
		諸収入	学校跡施設光熱水費利用負担金				594千円				
		諸収入	学校跡施設点検費用等負担金				112千円				
		諸収入	大宮社会体育館光熱水費利用負担金				53千円				
		市債	社会体育施設整備事業債（合併特例債）				7,300千円				
主要な事務・事業の概要	<社会体育施設の維持管理経費>				<利用状況>						
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）				30,755千円	紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）		224件			
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取、浄化槽法定検査手数料等）				715千円	大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート）		439件			
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）				16,162千円	大宮社会体育館		1,144件			
	○工事設計委託料				7,821千円	網野グラウンド（グラウンド、ゲートボール場）		595件			
	（社会体育館トイレ改修、久美浜中央運動公園トイレ洋式化）					網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート）		1,749件			
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料）				1,031千円	丹後社会体育館		359件			
	○工事請負費				5,379千円	弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、ゲートボール場）		1,509件			
	・吉野体育館高圧ケーブル等改修工事				2,706千円	久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、ゲートボール場）		1,258件			
	・丹波体育館高圧ケーブル配管敷設替工事				1,595千円	その他体育施設（26施設）		5,030件			
	・豊栄山村広場沈砂池浚渫工事				1,078千円	合 計（43施設）		12,307件			
	○備品購入費（体育館用掃除機）				34千円	成果・課題 ○施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設等見直し計画に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。					
	○施設使用料返還金				4千円						
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額			62,020千円						
		実質的な予算執行率			99.8%						
	■令和7年度への繰越事業										
	・社会体育館トイレ改修工事（令和7年10月完了予定）					44,693千円					
・久美浜中央運動公園トイレ洋式化工事（令和7年10月完了予定）											
					12,579千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	1,832千円		1,876千円	44千円	97.6 %		課
	目	03 体育施設費					(参考)繰越予算額		
	事業	01 体育施設管理運営事業（繰越）					1,876千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源				
目的	老朽化した高圧ケーブルの更新等改修工事を行い、社会体育施設の適切な管理運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	○工事請負費 ・丹波体育館高圧ケーブル更新工事 ・豊栄体育館高圧ケーブル更新工事		1,832千円						
			1,381千円						
			451千円						
		成果・課題	施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費					40.7 %		
	目	07 文化財保存活用費	54,002千円		132,428千円	78,426千円	(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	03 遺跡整備事業					131,028千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 デジ 外田園都市国家構想交付金（1/2） 309千円				
目的	地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を有効に活用するため、史跡整備を推進する。 国史跡網野銚子山古墳の保存・活用に向け、令和6年度は、埴輪列一部復元、説明板等設置、休憩施設建築、駐車場・道路整備などなどの環境整備を実施し、整備完了を予定している。		国補		国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2） 13,996千円				
			市債	遺跡整備事業債（合併特別債） 35,900千円					
主要な事業・事業の概要	○網野銚子山古墳整備関係経費		52,104千円		○史跡整備検討委員会経費 167千円				
	・ 網野銚子山古墳イラスト製作謝金		150千円		・ 史跡整備検討委員会委員報酬（委員15人、3回開催） 120千円				
	・ 文化庁調査官指導旅費		12千円		・ 委員費用弁償 47千円				
	・ 消耗品費		33千円						
	・ 建築確認申請手数料		28千円		○環境整備関係経費 450千円				
	・ 工事設計委託料		4,527千円		・ 網野銚子山古墳周辺下草刈委託料 450千円				
	・ 工事監理委託料		1,121千円						
	・ 測量委託料		2,145千円						
	・ 復元品（埴輪）製作委託料		6,831千円						
	・ 工事請負費（埴輪設置工事、解説板設置工事等）		37,147千円						
・ 水道加入負担金		110千円							
【令和6年度整備内容】 古墳墳丘上の埴輪列復元15基、説明板6基・誘導板3基の設置、銚子山古墳から駐車場までの135m分の通路の舗装									
○網野銚子山古墳啓発関係経費		1,281千円							
・ 職員旅費、有料道路通行料		31千円							
・ 消耗品費、印刷製本費		750千円							
・ ツアー企画委託料（日本海三大古墳巡り）		500千円							
				成果・課題	○網野銚子山古墳について、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事を進めることができた。 ○墳丘など史跡地内の整備工事は完了したものの、ガイダンス施設及び駐車場の整備については、土壌改良が必要となったため繰越事業として工事を実施することとなり、事業報告書の作成とともに令和7年度に繰越した。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	597千円		598千円	1千円	99.8 %		課
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額		
	事業	05 地域文化財総合活用推進事業					651千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源					
目的	文化庁の認定を受けた「京丹後市文化財保存活用地域計画」により、京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民遺産会議を運用するほか、京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会による進捗管理などを行う。								
主要な事業・事業の概要	○文化財保存活用地域計画推進協議会開催経費（委員15人） ・ 協議会委員謝金 2回開催、4千円×延べ19人 ・ 委員費用弁償 ○京丹後市市民遺産会議（委員5人） ・ 市民遺産会議委員謝金 3回開催、4千円×延7人、7千円×延べ4人 ・ 委員費用弁償 ・ 市民遺産周知用チラシ・ポスター印刷（全戸配布） ○「京丹後歴史文化めぐりマップ」運用経費 京丹後市文化財保存活用地域計画に示した4つの歴史文化の特徴と11のストーリーを紹介するデジタルマップ（令和5年度製作）のサーバー使用料			131千円 76千円 55千円 182千円 56千円 12千円 114千円 284千円	○推進協議会や市民遺産会議の開催、市民遺産5件の認定、京丹後歴史文化めぐりマップの運用により、京丹後市文化財保存活用地域計画で示した本市の歴史文化を掘り起こし広く周知するとともに保存活用をより一層推し進めることができた。 ○今後は、計画見直しに向けた計画全体の評価方法の検討や、認定市民遺産の保存活用とその支援策の検討、京丹後歴史文化めぐりマップの活用等をより推進していく必要がある。				
				成果・課題					